

講義科目名称： 心理学入門

授業コード： 2S001

英文科目名称： Introduction to Psychology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
伊藤 栞			

授業形態	講義（一部ワークやグループワークを行う）	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>心理学の歴史と方法 心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学、実験心理学の始まり（ヴント）、ヴント批判（ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析）</p>	伊藤 栞
	<p>第2回</p> <p>脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造、脳の働き、睡眠</p>	伊藤 栞
	<p>第3回</p> <p>発達1 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では、身体的な発達、認知的な発達について学ぶ。 key words：感覚機能の発達、運動機能の発達、認知的な発達（ピアジェ理論）</p>	伊藤 栞
	<p>第4回</p> <p>発達2 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では、心理社会的な発達について学び、生涯発達についての理解を深める。 key words：心理社会的な発達（エリクソンの理論）、生涯発達心理学</p>	伊藤 栞
	<p>第5回</p> <p>感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚、視知覚、錯覚</p>	伊藤 栞
	<p>第6回</p> <p>学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理を概観する。 key words：古典的（レスポナドント）条件づけ（パブロフ）、オペラント条件づけ（スキナー）</p>	伊藤 栞
	<p>第7回</p> <p>記憶 私たちは一生の間に数多くの様々な事柄を自らの記憶にとどめ、時に応じてそれらを思い出す。しかしながら、思い出そうとして思い出せないことや、忘れようとしても忘れられないことも多くある。本講義では、心理学における記憶の知見について学ぶ。 key words：記憶のしくみ、記憶の種類、記憶の多重貯蔵モデル、記憶の障害</p>	伊藤 栞
	<p>第8回</p> <p>言語と思考と知能 人は思考し、言語を生産する。私たちの日常的な思考においては、言語の役割は非常に大きく、言語はより抽象的な思考を可能にする。本講義では、言語心理学や思考の方法、知能について学ぶ。 key words：言語発達、問題解決、意思決定、知能</p>	伊藤 栞
	<p>第9回</p> <p>パーソナリティ 私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は、時や場所のような状況を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちには、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「パーソナリティ」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である類型論と特性論について学ぶ。講義の後半では、臨床の現場で用いられる性格検査を体験する（予定）。 key words：類型論、特性論、性格の5因子モデル、パーソナリティ検査の信頼性と妥当性</p>	伊藤 栞

	<p>第10回 感情・情動と動機づけ 私たちが行動を起こそうとするとき、そこには感情や動機（づけ）が関わっている。本講義では、感情・情動と動機づけの諸理論について学ぶ。 key words：感情と情動，古典的な感情理論，現代の感情理論，動機づけと欲求，欲求階層説</p> <p>第11回 対人関係と集団 1 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：対人認知，対人感情，対人関係の成立基盤</p> <p>第12回 対人関係と集団 2 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：援助行動，攻撃行動，集団内過程・集団間過程</p> <p>第13回 異常 異常（abnormal）心理学は、こころの異常現象の諸相とその成り立ちの解明を目的とするもので、精神病理学とほぼ同じ意味を持っている。本講義では、こころの病をもつ人において、その本質を理解するための異常心理学における現象について学ぶ。 key words：欲求・意思・行動の異常，感情の異常，知覚・表象の異常</p> <p>第14回 健康 健康心理学では、健康に関連する様々なトピクスがある。本講義では、健康とストレスおよびパーソナリティとの関連について学ぶ。 key words：ストレスラー，ストレス反応，ストレスコーピング，タイプA，タイプB，タイプC</p> <p>第15回 心理学の社会的展開 これまで様々な心理学の知見や研究について学んできた。本講義では、心理学の知見や技術を社会でどのように実践、活用しているのか学ぶ。 key words：チーム医療，障害者福祉，心の健康教育，少年院，ストレスチェック制度</p>	伊藤 栞 伊藤 栞 伊藤 栞 伊藤 栞 伊藤 栞
科目の目的	心理学を学ぶことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。 ディプロマポリシー：【人間の尊厳と基本的人権】	
到達目標	1. 心理学諸理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。	
関連科目	【教養・共通基盤科目群】教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，家族社会学，生活文化と医療，人口知能・ロボットと社会，人間関係・コミュニケーション論，基礎統計学，情報処理，情報リテラシー，データサイエンス入門，大学の学び入門，大学の学びー専門への誘いー，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】医学概論，基礎生理学，小児科学，精神医学，リハビリテーション医学，言語医学，聴覚医学，臨床心理学，生涯発達心理学，学習・認知心理学，心理測定法，言語学，聴覚心理学，言語発達学，チーム医療とリハビリテーション，地域社会学 【専門科目群】地域リハビリテーション学，失語症学，高次脳機能障害学，失語・高次脳機能障害評価法，失語・高次脳機能障害支援論，言語発達障害学，言語発達障害評価法，言語発達障害支援論	
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・70%）に毎回の講義後に作成するリアクションペーパー等の評価（30%）を加味して評価する。なお、リアクションペーパーの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行く。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書の授業に関連するトピックについて読み、どのような内容について学ぶのか事前におさえておく。不明な点や気になる点があれば、授業時に理解がすすむようにノートなどにまとめるなど準備をしておく。予習・復習時間は合わせて4時間程度。	
教科書	繁枘算男（2018）「公認心理師の基礎と実践 2 心理学概論」遠見書房	
参考書	内山靖・藤井浩美・立石雅子（編）（2020）リハベーシック心理学・臨床心理学 医歯薬出版	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国会試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施する（個人ワーク，グループワーク）。	

ナンバリング

SBa-101

講義科目名称： 教育学

授業コード： 2S002

英文科目名称： Education

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
井上 暁子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>教育とは何か 本科目の目的や本科目で取り上げる内容、進め方等についてのガイダンス。 「教育とは何か」について概観し、教育学を学ぶことの意味を捉える。 topics： 教育とは何か 教育の意義 教育の目的 教育学を学ぶことの意味</p>	井上 暁子
	<p>第2回</p> <p>教育と子ども家庭福祉 子どもの権利や子ども観、影響を与えた教育思想、教育と福祉に関する法などについて知ることを通して、「教育」と「子ども家庭福祉」には深い関連性があることを理解する。 topics： 子ども観 教育思想 児童の権利に関する条約 教育に関する権利 児童福祉法・教育基本法と教育</p>	井上 暁子
	<p>第3回</p> <p>教育制度の基礎 教育を運用していくための制度について、教育の歴史的変遷と現在の教育制度、教育課程、その基準となる学習指導要領について知ることから学ぶ。 topics： 教育制度の歴史的変遷 日本の教育制度 教育課程 学習指導要領 学習指導要領改訂の変遷</p>	井上 暁子
	<p>第4回</p> <p>乳幼児期の教育 就学前の子どもの教育について、どのような教育の場があるのかや、幼児教育の基本的な考え方について理解する。 topics： 幼稚園・保育園・幼保連携型認定こども園 幼児教育の基本的な考え方 5つの領域 育みたい資質及び能力 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿</p>	井上 暁子
	<p>第5回</p> <p>幼児教育の実践 幼稚園における実際の保育実践の映像を視聴することにより、子どもが主体的に環境と関わり、遊びを通して育つ幼児教育の本質と重要性について、自身の幼稚園・保育園時代を振り返りつつ具体的に理解する。 topics： 子どもの成長と発達 遊び 環境を通して行う教育 幼児期にふさわしい生活</p>	井上 暁子
	<p>第6回</p> <p>学校教育現場の諸問題 現代の社会において、学校教育の現場で起きている不登校やいじめに代表される様々な問題について、その現状と課題や対応等について知る。 topics： いじめ 不登校 学級崩壊 暴力行為、体罰 性的マイノリティー</p>	井上 暁子
	<p>第7回</p> <p>家庭環境にかかわる諸問題を抱える子どもと教育 現代の社会において、家庭環境に起因する貧困やヤングケアラーなどの様々な問題について、その現状と課題や対応等について知る。 topics： 子どもの貧困 ヤングケアラー 外国籍の子ども 少年非行 教育格差</p>	井上 暁子
	<p>第8回</p> <p>児童虐待と教育 児童虐待について、定義、現状、早期発見のポイント、通告などの基本的な事項を理解し、対人援助の職に就く自分にできることは何かを考える。また近年話題となっている「教育虐待」について知る。 topics： 児童虐待とは 児童虐待の早期発見 児童虐待通告 児童虐待と学校・保育現場 教育虐待</p>	井上 暁子
	<p>第9回</p> <p>社会的養護の下で生活する子どもと教育 社会的養護とは何かと、児童養護施設などの児童福祉施設の機能や役割について知り、そこに暮らす子どもに対してどのように教育が保障されているのかを理解する。 topics： 社会的養護 児童福祉施設 里親 施設と学校との連携 教育や学習・進学に関する課題</p>	井上 暁子
	<p>第10回</p> <p>特別な配慮を要する子どもと教育 特別支援教育とは何かや、障害のある子どもの学びの場としての特別支援学校や特別支援学級・通級による指導の対象や教育体制、教育課程について等、特別支援教育の概要を理解する。 topics： 特別支援教育 インクルーシブ教育 障害 特別支援学校 特別支援学級 通級による指導 自立活動</p>	井上 暁子

	第11回	保健・医療上の配慮を要する子どもと教育 重症心身障害児、医療的ケア児、病虚弱児など、保健・医療上の配慮を要する子どもの教育の場や教育の体制について知る。 topics：重症心身障害児 医療型障害児入所施設 訪問教育 医療的ケア児 病弱・身体虚弱児 特別支援学校(病弱)	井上 暁子
	第12回	チームとしての学校 学校では、教職員をはじめ教員以外の学校スタッフの多様な人材がそれぞれの専門性を生かして能力を発揮し、連携・協働しチームとして教育にあたっていることを学ぶ。 topics：チーム学校 学校保健 養護教諭 スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー	井上 暁子
	第13回	教育相談 教育現場で行われる「教育相談」について、その意義・目的、実施機関・実施者、対象、構造、生徒指導との兼ね合い等の事項を理解する。また対象者との信頼関係を築く上で大切な基本的態度について知る。 topics：教育相談 四層構造の教育相談 カウンセリングマインド 受容 共感 傾聴	井上 暁子
	第14回	キャリア教育 一人ひとりの社会的・職業的自立に向け必要な基礎となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促すキャリア教育について理解する。 topics：キャリア教育 キャリア発達課題 基礎的・汎用的能力 職場体験 進路指導 キャリアパスポート	井上 暁子
	第15回	社会教育と生涯学習 青少年や成人に対して地域で行われる社会教育の位置づけや社会教育施設について学ぶ。また生涯学習の理念や意義について知り、私たちが人生を豊かにするために生涯にわたって学習し続けることができることを理解する。 topics：社会教育 社会教育施設 生涯学習 生涯学習を支える社会教育の場 リカレント教育との違い	井上 暁子
科目の目的	<p>教え育てるという2方向の作用を含む概念である教育について、教育の概念・教育の制度・教育の内容等、幅広い観点から基本的事項を学ぶ。また、子どもをめぐる近年多様化複雑化する様々な問題・課題についてとりあげ、教育との関連から考察する。それらの学びを通じて、医療職という対人援助職に必要な教育者の素養を身につける。</p> <p>【人間の尊厳と基本的人権】</p>		
到達目標	<p>教育の役割や制度について基本的な事柄を理解すると共に、現代社会における教育に関する諸問題について関心を高め、自らに引き寄せて考えられるようになる。また、教育学の学びを活かして対人援助職として、様々な課題を抱える対象者を理解しどのように向き合っていくかを自分の言葉で説明できる。</p>		
関連科目	心理学入門、社会学、社会福祉制度・関連法規		
成績評価方法・基準	<p>期末レポート（70%） 授業内小レポート（30%）：小レポートは通常の授業内で何度か実施（次回講義の冒頭でフィードバックを行う）</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>Active Academyにより配布の講義資料を読んで予習する。授業後には内容を振り返り、扱われたテーマについて理解を深め復習する。また、日頃から新聞、テレビ、インターネット等で「教育」に関連した記事に関心を持ち目を通すようにし、それらを含めて1コマあたり180分を目安に自己学習を行う。</p>		
教科書	使用しない		
参考書	授業内で随時紹介する		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより講義資料を配布します（原則として前回授業翌日から当該日まで）。各自、PCにダウンロードして授業に持参してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ディスカッションを実施		
ナンバリング	SBa-102		

講義科目名称： コミュニケーション学入門

授業コード： 2S003

英文科目名称： Introduction to Communication

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
伊藤 栞			

授業形態	講義, 演習 (各回, 個別/グループワークを30分程度)	担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション, コミュニケーションについて 本講義の目的と到達目標, 授業の進め方などについて説明を行う。 社会の中で生活していくうえで必要不可欠なスキルであるコミュニケーションとは、いったいどういったものであるのか改めて考えてみる。 key words: コミュニケーションの目的, 目標, 構成要素, 機能</p> <p>第2回 非言語コミュニケーション (1) コミュニケーションにおける非言語がもたらすメッセージ性はとても大きい。非言語コミュニケーションはどんなものであり、それがどのようなメッセージとなり得るのか学ぶ。 key words: 非言語コミュニケーションの種類, 感情表現, 印象形成 (目線, 視線, 姿勢, 動作)</p> <p>第3回 非言語コミュニケーション (2) 空間や時間なども非言語コミュニケーションである。前回の授業の内容である非言語コミュニケーションをまた違う角度から捉えていく。 key words: 自分と相手の距離, 時間という概念</p> <p>第4回 言語コミュニケーション (1) 当たり前のように行っている言語を使ったコミュニケーションであるが、ことばとコミュニケーションの関係について考える。 key words: 記号と言語, ことば, 書き言葉・話し言葉, 敬語と謙譲語</p> <p>第5回 言語コミュニケーション (2) 言語コミュニケーションの一つとしての説得的コミュニケーションについて学ぶ。また言語コミュニケーションの限界について考える。 key words: 説得的コミュニケーション, 内的照合枠</p> <p>第6回 ソーシャルスキル (1) ソーシャルスキルとしての人に話を聴いてもらうスキルについて学ぶ。 key words: 聞いてもらうスキル, 自己開示と自己呈示</p> <p>第7回 ソーシャルスキル (2) ソーシャルスキルとして人の話を聴くスキルについて学ぶ。 key words: 話を聞く/聴く, 傾聴</p> <p>第8回 ソーシャルスキル (3) 人の話を適切に聴いていくためのコミュニケーションの手法について学ぶ。 key words: 質問, あいずち, 明確化, 要約</p>	<p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p>
科目の目的	<p>私たちはあたり前のようにコミュニケーションを行っている。しかし、コミュニケーションについて体系的に学ぶ機会はありませんでした。これはなぜでしょうか。「コミュニケーション不全」「コミュニケーションの失敗」による人間関係上の問題は多くあり、”うまくコミュニケーションを行っていない”現状があると思われる。本講義を通じて、人と人が大きな齟齬なく理解しあったり、問題を共有し、問題解決のために考えたりするための基礎とするための教養としてのコミュニケーションについて学ぶ。 ディプロマポリシー: 【人間の尊厳と基本的人権】</p>	
到達目標	<p>1. コミュニケーションとは何かについて説明することができる。 2. 実際にコミュニケーションスキルを用いることができ、社会生活において適切に活かすことができる。</p>	
関連科目	多職種理解と医療コミュニケーション, 心理学, 臨床心理学	
成績評価方法・基準	コメントペーパー (授業内で指定された内容を指定された期日までに提出すること) 100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>予習: 参考書などを利用しコミュニケーションに関する興味関心を高める (2時間程度)。 復習: 配布された資料や講義を受けての各自のメモなどを用いて復習し、わからないことは調べたり、次回授業で聞くことができるようにする (2時間程度)。</p>	
教科書	内山靖・藤井浩美・立石雅子 (2021). 「コミュニケーション論・多職種連携論」 医歯薬出版株式会社	
参考書	岡野雅雄 (2008). わかりやすいコミュニケーション学: 基礎から応用まで 三和書籍 藤田依久子 (2022). 新版対人コミュニケーション入門 ナカニシヤ出版	

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施する（個人ワーク，グループワーク）。
ナンバリング	SBa-103

講義科目名称：健康スポーツ理論

授業コード：2S004

英文科目名称：Sports Science

対象カリキュラム：2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義 (13回) ・ 演習 (2回)	担当者
授業計画	第1回 健康管理概論 1. ヘルスプロモーション (健康づくり) 2. 予防医学 3. 生活習慣病 (NCD) 概論	衣川 隆
	第2回 健康づくり施策概論 1. 健康日本21 (2011) のこれまでの取り組み 2. 健康日本21 (第二次) (2013) とは？ 1. 健康日本21 (2011) のこれまでの取り組み 3. 日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう 4. ライフスタイルと生活習慣病	衣川 隆
	第3回 生活習慣病 (NCD) 1. メタボリックシンドローム 2. 高血圧 3. 糖尿病 4. ロコモティブシンドローム 5. 悪性新生物 (がん) 6. 認知症	衣川 隆
	第4回 運動生理学 1. 呼吸・循環器系と運動 2. 脳・神経系と運動 3. 骨格筋系と運動	衣川 隆
	第5回 機能解剖学 1. ハムストリングスの肉離れ ～アスリートを悩ます重大な障害～ 2. 筋肉の種類や分類法	衣川 隆
	第6回 健康づくり運動の理論 (トレーニングと筋肥大・栄養・骨) 1. 体力トレーニングの原理と原則 2. 強度の条件 (主にコンセントリック) 3. 筋トレセット間の休憩時間 4. 筋力トレーニングと栄養 (トレーニング50対栄養50) 5. 骨について	衣川 隆
	第7回 健康づくり運動の理論 (ストレッチ) 1. ストレッチングの種類は大きく分けて2種類	衣川 隆
	第8回 スポーツ障害と予防健康管理概論 1. スポーツ障害とは	衣川 隆
	第9回 体力測定と評価 1. 体組成とは	衣川 隆
	第10回 運動プログラムの実際 1. 健診結果と特定保健指導の基準値 2. メディカルチェック	衣川 隆
	第11回 運動と心の健康増進 1. 喫煙とメンタルヘルス、運動 2. 多くの現代人を悩ませる「睡眠負債」とは？	衣川 隆
	第12回 栄養摂取を考察する 1. 栄養素の種類と働きを考察する	衣川 隆
	第13回 健康についての雑学 (食事・栄養) 1. ダイエットに関する情報 2. 危険な4つの食べ物	衣川 隆
	第14回 健康についての雑学 (心・体) 1. 健康とこころ (心理学に学ぶ) 2. アナトミートレイン 3. その他	衣川 隆

	<p>第15回</p> <p>スポーツ小テスト 1. 授業中に課題を出した柔軟性的小テスト（昨年度は前屈ストレッチング）を実施する 小テストの評価は、総合評価10/100とする 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する</p>	衣川 隆
科目の目的	<p>「健康と運動」・「老化と運動」に関しその維持と増進方法についてのメカニズムを知り、なぜ運動が重要なのかを理解することを一つの目的とする。</p> <p>特に有酸素運動と筋トレやストレッチングの効果は、心肺機能・呼吸器の向上や筋力の向上と柔軟性だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、正しい姿勢の予防・改善、高齢者生活の障害を低減すること等を、自分自身でも実践しながら理解できるようにする。また本講義で得た知識やその効果を、未来の医療従事者として、地域社会の人々に発信できるよう基礎を学ぶ。</p> <p>一方で日常生活やスポーツを行な時に、その能力を高めたり継続することに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起こり得る問題の対策を学習し、考察することにより理解力を深めることを目的とする。</p> <p>【多職種協働と地域社会活動の促進】</p>	
到達目標	<p>「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、機能的な筋力トレーニングやストレッチングの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心構えができる。まずは今から実践できその習慣を身に付けることができる。また地域社会に発信できるように、まずは家族や友人関係と、健康とスポーツについては発信し考察できる。</p> <p>一方でスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に身に付けた知識を取り組める。</p>	
関連科目	健康スポーツ実技	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（90%）、授業内的小テスト（10%） 定期試験は100点満点で実施するが90点満点に換算。授業内的小テストは1回実施して10点満点とする。 定期試験は講義で学んだ中から実施する。 小テストは講義中に課題として出した柔軟性的小テスト（昨年度は前屈ストレッチング）を実施する。 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおいての、自分自身の健康や体力、栄養について管理をしておくこと。よって1日1回はどこかで運動を行い、食事についてもタイミングと栄養について考えてもらいたい。	
教科書	アクティブアカデミーにて授業資料を配布する。	
参考書	<p>「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店</p>	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	<p>正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身に付ける。</p> <p>具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 3. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 4. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること 	
ナンバリング	SBa-104	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	実技	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>オリエンテーション アクティブ・ラーニングの実施説明する。 オリエンテーションと班編成&トレーニングの説明。</p>	衣川 隆
	<p>第2回</p> <p>球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチング。このストレッチングは毎回実施するため、最終日の股関節ストレッチングポーズにつなげることを説明する。また前期の健康スポーツ理論の講義にも出てきた生涯にわたって正しい姿勢やスポーツ競技の向上、障害予防にも繋がるストレッチングである旨説明する。 班対抗戦：バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出やすいスポーツであるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討していく。バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
	<p>第3回</p> <p>球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、回内回外ストレッチングを行う。股関節のストレッチング効果も期待できる四股踏みも行う。 班対抗戦：バスケットボール。バスケットボールは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
	<p>第4回</p> <p>体力測定記録会 体力測定記録会の種目（長座体前屈、握力、背筋力、立ち幅跳び、反復横跳び、プッシュアップ30秒、ボール投げ、上体起こし、20m）。 体力測定記録会は小テストになる。小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、記録会の成績を自己分析したレポートを提出する。 広義には「健康とスポーツ」であるが狭義には講義中に説明する。</p>	衣川 隆
	<p>第5回</p> <p>球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、ペアで行うストレッチングをする。具体的に胸郭の柔軟性が肩関節にも影響を及ぼすことを理解できるストレッチングを行う。 班対抗戦：バドミントン。バドミントンは、老若男女において取り組みやすいスポーツであるため、生涯にわたって行っていくかのせいもあるスポーツである。授業でバドミントンを行うにあたって、学生たちの人数に対して試合場所が十分でない可能性もあるため、その中でローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、順次にローカルルールを再度検討する。バドミントン経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
	<p>第6回</p> <p>球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、CKC（クローズキネティックチェーン）トレーニングをする。多関節筋との関係を説明する。 班対抗戦：フットサル。フットサルは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出やすい。また強く蹴ったりするとけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。フットサル経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
	<p>第7回</p> <p>球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、バックライン（アナトミートレイン）のストレッチングを行う。 班対抗戦：バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出やすい。2回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。 バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆

第8回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、体幹トレーニング①を行う。野球の投球、バレーボールのアタックやサーブ、テニス・バドミントンのサーブ等は体幹と上腕の運動連鎖であることを説明しながら行う。</p> <p>班対抗戦：バスケットボール。バスケットボールは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もある。2回目のバスケットボールで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。</p> <p>バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第9回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、ペアで行うストレッチングをする。具体的に股関節の柔軟性と回内回外を連動させたペアストレッチングはどのような影響を及ぼすのかを体験する。</p> <p>班対抗戦：バドミントン。授業でバドミントンを行うにあたって、学生たちの人数に対して試合場所が十分でない可能性もあるため、その中でローカルルールを検討して競技を進めていく。2回目のバドミントンで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、前回と異なる練習方法（攻撃型や守り型）を検討する。</p> <p>バドミントンは、生涯にわたって取り組みやすいスポーツなので、未経験者も楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第10回	<p>心肺持久力記録会 20mシャトルランを実施する。この心肺持久力記録会は小テストとする。心肺機能や走力の向上を図るとともに、有酸素運動とATPの関係も学ぶ。</p>	衣川 隆
第11回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、反応トレーニングやスピードトレーニングを行う。</p> <p>班対抗戦：フットサル。フットサルは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出やすい。また強く蹴ったりするけがをする可能性もある。2回目のフットサルで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。</p> <p>フットサル経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第12回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、地面反発トレーニングを行う。そこに肩甲骨の動きや母指球の動きも意識させて行う。</p> <p>班対抗戦：バレーボール。3回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも更に向上していると思われる。授業の中では最後のバレーボールになることを鑑み、どのような戦法で戦っていくのかを班の中で十分検討し試合に臨む。</p>	衣川 隆
第13回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、ペアで行うぎっこんばったんストレッチングを行う。</p> <p>班対抗戦：バスケットボール。3回目のバスケットボールで班の中でコミュニケーションも更に向上していると思われる。授業の中では最後のバスケットボールになることを鑑み、どのような戦法で戦っていくのかを班の中で十分検討し試合に臨む。</p>	衣川 隆
第14回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、全身の運動連鎖ストレッチングを行う。バックライン（アナトミートレイン）を中心に筋肉をマッサージしながら、次週がストレッチング小テストになるので、少し時間をかけて行う。</p> <p>班対抗戦：フットサル。3回目のフットサルで班の中でコミュニケーションも更に向上していると思われる。授業の中では最後のフットサルになることを鑑み、どのような戦法で戦っていくのかを班の中で十分検討し試合に臨む。</p>	衣川 隆
第15回	<p>スポーツ小テスト 授業中に課題を出した柔軟性の小テスト（昨年度は股関節ストレッチングポーズ）を実施する。</p> <p>小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。</p>	衣川 隆
科目の目的	<p>運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチングを行い、学生自身が体力をつけることを狙いとする。また一人でも簡単にできる筋力トレーニングやストレッチングを行って、少しずつ無理なく自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。</p> <p>各種スポーツでの身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚を促す。スポーツを通して自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力を身につける。</p> <p>各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして多職種連携による問題解決の重要性の理解し、学生相互のコミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養を身につける。</p>	

	【多職種協働と地域社会活動の促進】
到達目標	<p>1. 健康と体力の重要性を理解し、自らの意志で維持向上をする仮説を立てそれを実行することができる。</p> <p>2. 生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける基軸を検討することができる。</p> <p>3. 地域社会の生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整えるための発信力を持つ準備ができる。</p> <p>4. 学生相互のコミュニケーションを積み重ね、スポーツの現場でみんなが楽しく効率的かつ円滑に進行する共同的な行動ができる。</p>
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	<p>授業時間内の実技（80％）。小テスト（20％）。</p> <p>実技の評価ポイントは、科目目的やアクティブラーニングに記載されていることが実施できているかを基準にする。</p> <p>1回目の小テストの評価は、総合評価10/100とする。 小テストの評価ポイントとして、記録会の成績を自己分析したレポートを提出する。広義には「健康とスポーツ」であるが狭義には講義中に説明する。</p> <p>2回目の小テストは、授業中に課題を出した柔軟性の小テスト（昨年度は股関節ストレッチングポーズ）を実施する。 小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。</p>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおいて、心と体の健康管理と生活状況管理をしておくこと。よって1日1回は運動が出来るような生活リズムを心がけてほしい。
教科書	使用しない。
参考書	「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。</p> <p>具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 4. 学生は活動（例：読む、議論する、書く）に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探究することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
ナンバリング	SBa-105

講義科目名称： 文学

授業コード： 2S006

英文科目名称： Literature

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイダンス：「文学」とは何かを考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義の流れ 2. 代表的な作詩者について考える。メッセージ力とは何か、どこから生まれてくるのだろうか。 3. 世界的に愛される詩の秘密を考察する。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で「詩」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第2回</p> <p>芥川龍之介概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高校時代読み学んだ小説「羅生門」をどのように読み取ったかを振り返ってみる。 2. 芥川龍之介について説明する。 3. 芥川龍之介の生涯を学んで、小説「羅生門」を読み直す。今までと違った感じ取り方を味わうことができる。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で芥川龍之介と「羅生門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第3回</p> <p>梶井基次郎概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 梶井基次郎について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。 3. 小説「檸檬」を読み直す。「檸檬」の中に潜む「光と影」を読み取る。「得体のしれない不吉な塊」とは何か？どんな背景があるのか？また、多くの人が絶賛する「檸檬」の文章は、その内容もさることながら、並べ立てられていく言葉の流れそのものが美しかった。日本語というのはこんなに綺麗に、鮮やかに描くことができるのかと思った。」と言われる箇所はどこか。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で梶井基次郎と「檸檬」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第4回</p> <p>宮沢賢治概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮沢賢治について説明する。 2. 「母親」の教えから、どのような人生を送ったのか、その人生の中にある「光と影」について考察する。また「春と修羅」詩集「銀河鉄道の夜」等の児童文学を残し、現代を生きる作家や映画監督、ミュージシャン等にも影響を及ぼしているその理由を考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第5回</p> <p>結核と文学①（宮崎駿『風立ちぬ』から）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎駿と『風立ちぬ』と結核との関係を説明する。 2. 結核について文化史的側面から考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「風立ちぬ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
	<p>第6回</p> <p>結核と文学② 宮崎駿『風立ちぬ』から）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎駿と『風立ちぬ』と結核との関係を説明する。 2. 結核について文化史的側面から考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「風立ちぬ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>※小レポート作成準備</p>	衣川 隆
	<p>第7回</p> <p>文学がひらくもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文学と医療の関係について、仮説を立て方等を説明する。 2. 前半の講義の中から、様々な問題を読みとり考察する。 3. 講義内容をまとめる仮説を立てレポートを書く準備をする。 <p>※事前学習で「社会人の基軸となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を備え、医療職としての態度」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆

第8回	<p>与謝野晶子と出産——『青海波』を読む——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 与謝野晶子について説明する。 2. 与謝野晶子と家族、出産について説明する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「青海波」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第9回	<p>夏目漱石概論①——病と文学——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 夏目漱石について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。 3. 小説「門」を読む。門に隠された表現を探っていく。小説はまず主人公を読者に紹介しつければならない。主人公をどうやって印象付けるかを探る。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で夏目漱石と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第10回	<p>生命の尊厳について学ぶ①（『おくりびと』から）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遺体を棺に納める“納棺師”という職を通して、様々な死と向き合い人生をみつめていくことを説明する。 2. 死者を見送ることや生命の尊厳について考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で「おくりびと」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第11回	<p>生命の尊厳について学ぶ②（『おくりびと』から）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遺体を棺に納める“納棺師”という職を通して、様々な死と向き合い人生をみつめていくことを説明する。 2. 死者を見送ることや生命の尊厳について考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で「おくりびと」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第12回	<p>樹木希林——「一切なりゆき」を読む——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 樹木希林について説明する。 2. 作者と病（がん）の関係について説明する。 3. 「一切なりゆき」を読む。活字において数多くのことばを遺した語り口は、平明でいつもユーモアを添えることを忘れない。その奥にある深さを鑑みる。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で樹木希林について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第13回	<p>正岡子規概論——病と文学——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正岡子規について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。不治の病で床に伏し、激痛と闘いながらも森羅万象への好奇心を持ち続けた日々の記録を読む。 3. 正岡子規の俳句や短歌、文章の革新運動の表現を探っていく。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で正岡子規と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第14回	<p>オノマトペとは（短歌を作る）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オノマトペ表現から他者の感覚を想像することができる。 2. オノマトペを使って短歌を作ることができる。 3. 「東洋大学現代学生百人一首」応募する。「現代学生のもの見方・生活感覚」を詠みこんだ短歌を作る。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で「オノマトペ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第15回	<p>文学がひらくもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文学と医療の関係について説明することができる。 2. 文学やその近接ジャンルから様々な問題を読み取ることができる。 3. 講義内容をまとめるレポートを書く準備をする。 4. 医療対象を身体的・心理的・社会的側面からとらえながら、深い洞察力・倫理観・生命の尊厳についての深い認識をもってレポートを書く。 <p>※事前学習で「文学がひらくもの」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
科目の目的	<p>時代を超越した文学の中には、人生の学びともなりこころの基軸ともなる。そこには光と影、生と死、愛と憎しみ、病と祈り、不安と恐怖、歓喜とその裏にあるものなど、言葉の中に表現されたテーマは実に多様であり、その表現方法も種々様々である。</p> <p>本科目の文学では、近代から現代までを取り上げ、俳句・短歌・詩・小説といったさまざまな文学のジャンルの魅力やその表現の奥にある深さや豊かさを理解し、生涯にわたって基軸になるような宝となりうるかもしれない文学的教養の扉を開いて行く。</p> <p>そして文学の世界を理解するために、映画、アニメーション等といった様々な近接ジャンルについても理解を深め、人間の創り出す物語とは何かという問題に向かい合う。</p> <p>一方で、病者の抱える苦悩や絶望といった内面的な問題を中心に置き、病者自らが記した小説・日記・俳句等から読み取り、それを医療従事者としてどのように理解し自らの医療行為に反映させることができるのかを考えることを目的とする。</p>	

	【人間の尊厳と基本的人権】
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人の基軸となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を備え、医療職としての態度を身につけることができる。 2. 医療対象を身体的・心理的・社会的側面からとらえることができる。 3. 幅広い教養を持った感性豊かな人間性と、深い洞察力・倫理観・生命の尊厳についての深い認識などを持つことができる。 4. 社会の変化や地域の特性をふまえ、多様な人や環境に積極的かつ柔軟に対応できる。 5. 世界で生じている保健医療の問題に関心をもち、医療職の役割を考えることができる。
関連科目	医療人文学、哲学、社会学、心理学
成績評価方法・基準	授業内小レポート（20%）、期末レポート（80%）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前＝講義で使用するテキストを読み問題を整理する。（1.0時間） ・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間）
教科書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布する。各自で印刷するか、パソコンを持参し講義資料を見るか各自で選ぶこと）。
参考書	各テーマごとに講義資料を作成して配布する。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。</p> <p>具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 4. 学生は活動（例：読む、議論する、書く）に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探究することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
ナンバリング	SBb-101

講義科目名称： 人間と宗教

授業コード： 2S007

英文科目名称： Humans and Religion

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
森 禎徳			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 人間と宗教 なぜ人間は宗教を必要とするのか。人間にとっての「超越者」の意義を考える。	森 禎徳
	第2回 神話と人間 ギリシャ神話と日本神話について学び、神話に含まれる歴史的真相や教訓を知る。	森 禎徳
	第3回 世界宗教 (1) 「世界宗教」と呼ばれるキリスト教、イスラム教、仏教のうち、キリスト教とその起源であるユダヤ教 (旧約聖書) について学ぶ。	森 禎徳
	第4回 世界宗教 (2) イスラム教の起源と教義を学ぶとともに、現代の世界におけるイスラム教の状況について考える。	森 禎徳
	第5回 世界宗教 (3) 仏教が目指す「悟り」「解脱」とは何かを考えるとともに、現代の日本人と仏教のかかわりについて学ぶ。	森 禎徳
	第6回 新宗教とカルト 新宗教とは何かを学び、一部の宗教団体がカルト化していった経緯を知ることによって正しい信仰のあり方を考える。	森 禎徳
	第7回 神の存在証明 中世キリスト教哲学では、神の存在を証明する試みが隆盛した。その歴史と証明の論理構造を概観する。	森 禎徳
	第8回 神の存在証明批判 ヒュームの経験論とカントの批判哲学を中心に、神の存在証明に対する批判を概観する。	森 禎徳
	第9回 知性と宗教 聖書に見られる反知性主義、キリスト教による科学の弾圧の歴史を通して信仰と知性の関係を考える。	森 禎徳
	第10回 道徳と宗教 カントの『単なる理性の限界内における宗教』を出発点に、信仰と道徳、信仰と自由の関係について考える。	森 禎徳
	第11回 平和と宗教 (1) 十字軍の歴史を通して異教徒 (異文化) 間の相互理解の可能性と限界について考える。	森 禎徳
	第12回 平和と宗教 (2) かつて日本において、本来なら平和の重要性を説くべき仏教が国家の戦争に動員され、戦争の道具となった歴史を振り返る。	森 禎徳
	第13回 ホスピスの歴史と思想 シシリー・ソンドースの生涯と思想をたどりながら、ホスピスの原点とホスピス運動の展開について考える。	森 禎徳
	第14回 アイデンティティと宗教 「宗教二世」問題を通して、宗教によって自らの生き方を選ぶ機会を奪われた人たちの思いを考える。	森 禎徳
	第15回 医療と宗教 宗教的信条に基づく輸血拒否の事例をもとに、信仰は生命に優先するのかを考える。	森 禎徳

科目の目的	<p>宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの相において人間にかかわりをもつ「宗教」とは何かについて考え、キリスト教を中心にその教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会の理解にも役立つだろう。また、医療と宗教のかかわりについても考える機会を設けたい。【人間の尊厳と基本的人権】</p>
-------	--

到達目標	①宗教が人間にとって大きな意味を持っていることを知る。 ②宗教が人間の営みに対して時に有害な影響を行使したことも知る。 ③宗教と医療のあるべき関係について考えを深める。
関連科目	哲学 生命倫理
成績評価方法・基準	期末レポート（100%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマ当たり4時間程度、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。授業中に参考文献や映画を紹介するので、気になった作品に触れてみてください。
教科書	教科書は使用しません。授業はパワーポイントを使って進行します。
参考書	授業中に必要に応じて紹介します。ただし、購入を強制するものではありません。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	集中力・注意力の減退につながるため、基本的に授業資料の配布は行いません。重要だと思ったことはノートに記録して復習に役立てるよう心がけてください。
アクティブ・ラーニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受けつけます。
ナンバリング	SBb-102

講義科目名称： 芸術

授業コード： 2S008

英文科目名称： Art

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイドダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第2回</p> <p>ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第3回</p> <p>劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。</p>	東 晴美
	<p>第4回</p> <p>観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。</p>	東 晴美
	<p>第5回</p> <p>身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第6回</p> <p>ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第7回</p> <p>能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。</p>	東 晴美
	<p>第8回</p> <p>狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第9回</p> <p>歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。</p>	東 晴美
	<p>第10回</p> <p>文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第11回</p> <p>ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。</p>	東 晴美
	<p>第12回</p> <p>アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。</p>	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	<p>東 晴美</p> <p>東 晴美</p> <p>東 晴美</p>
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【人間の尊厳と基本的人権】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小テスト（2回）各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
参考書	各回のテーマに関連する参考書を授業中に紹介する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習（教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでいる芸術ジャンルの特色を発見し考察する）	
ナンバリング	SBb-103	

講義科目名称： 哲学

授業コード： 2S009

英文科目名称： Philosophy

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽 悠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SBb-201	

講義科目名称： 生命倫理

授業コード：

英文科目名称： Bioethics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SBb-202	

講義科目名称： 法学（日本国憲法含む）

授業コード： 2S011

英文科目名称： Law（Including the Constitution of Japan）

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SBc-201	

講義科目名称： 社会学

授業コード： 2S012

英文科目名称： Sociology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SBc-202	

講義科目名称： 生活文化と医療

授業コード： 2S013

英文科目名称： Culture and Medicine in Life

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SBc-203	

講義科目名称： 多文化理解

授業コード： 2S014

英文科目名称： Intercultural Understanding

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 多文化理解に関する用語の整理 多文化理解について学ぶ際に必要となる用語を学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第2回 アメリカ型多文化主義① アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第3回 アメリカ型多文化主義② アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第4回 アメリカ型多文化主義③ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第5回 アメリカ型多文化主義④ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第6回 アメリカ型多文化主義⑤ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第7回 エスニシティ エスニシティについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第8回 性・ジェンダー① 性・ジェンダーについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第9回 性・ジェンダー② 性・ジェンダーについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第10回 教育・職業・社会経済的屬性 教育・職業・社会経済的屬性について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 期末レポート課題の提示と説明。	徳永 慎也
	第11回 宗教 宗教について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第12回 年齢・世代 年齢・世代について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第13回 障害者 障害者について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第14回 グローバリゼーションとグローカリゼーション グローバリゼーションとグローカリゼーションについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。	徳永 慎也
	第15回 第2回から第14回講義の復習（重要事項の確認） 第2回から第14回講義の復習（重要事項の確認） 多文化理解を学ぶ意義を再度確認する。	徳永 慎也
科目の目的	現代社会において、多様な価値観や文化的背景を持つ人々と相互理解を深めることはますます重要となっている。本科目では、異なる地域や言語、社会的価値観、文化的特性を持つ人々とのコミュ	

	ニケーションを円滑に行うための基盤となる多文化や多様性の重要性について学ぶ。また、個人および集団間の相互関係において、適切な社会文化的背景の理解と道徳観を養い、自分とは異なる他者を理解し尊重する姿勢を培う。【人間の尊厳と基本的人権】
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化や多様性を学ぶ意義について、自ら説明することができる。 ・異なる文化的背景や社会的価値観を持つ人々についての基礎的な知識を理解し、多文化や多様性について、具体例を挙げて、自ら説明することができる。 ・多様な価値観が共存する社会において、道徳的・倫理的観点から適切な判断を下し、日常生活においてその姿勢を実践できる。
関連科目	英語リーディング 医療英語リーディング 英語会話 医療英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング 国際コミュニケーション英語 中国語 コリア語 ドイツ語 ポルトガル語
成績評価方法・基準	期末レポート70% 毎回のコメントペーパー30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>本科目は、90時間の学習が必要な内容で構成されている。授業は30時間（15コマ）となるため、60時間分相当の準備学習（予習と復習）が必要となる。</p> <p>予習：講義資料を読んで、疑問点や自分の意見をまとめておく。</p> <p>復習：講義で得た知識を基に興味を広げ、文献やニュースを活用してさらに理解を深める。</p>
教科書	指定なし：講義資料を配付する
参考書	指定なし：講義内で適宜紹介する
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	私語厳禁（グループディスカッションなど、教員から指示がある場合を除く）。出席はパスワードを用いて登録してもらいますが、コメントペーパーを用いて教員も確認する。
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッションを行う。
ナンバリング	SBc-101

講義科目名称： 経済学

授業コード： 2S015

英文科目名称： Economics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。</p> <p>第2回 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。</p> <p>第3回 国民経済の仕組み 経済の3主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。</p> <p>第4回 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。</p> <p>第5回 政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。</p> <p>第6回 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。</p> <p>第7回 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。</p> <p>第8回 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。</p> <p>第9回 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。</p> <p>第10回 国内総生産（GDP）（1） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。</p> <p>第11回 国内総生産（GDP）（2） 「国民経済計算」（内閣府）のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。</p> <p>第12回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。</p> <p>第13回 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。</p> <p>第14回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。</p> <p>第15回 少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。</p>	<p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p>
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。【人間の尊厳と基本的人権】	
到達目標	<p>1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。</p> <p>2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。</p>	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における復習プリント40%（3～4回、授業資料参照可）、授業内試験60%で総合的に評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書	教科書は使用しません。授業ではWebに添付する授業資料を使います。	
参考書	必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。授業内試験時には印刷された授業資料のみを持ち込み可とします。なお、資料の添付期間は資料を添付してから1か月間です。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。
ナンバリング	SBc-102

講義科目名称： 地域ボランティア活動論

授業コード： 2S016

英文科目名称： Community Volunteer Activities

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆	岩城 翔平	一柳 大輔	

授業形態	講義8回と授業内レポート、地域ボランティア活動実習6回と体験レポート1回。		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス、ボランティアの現状、ボランティアの歴史について 本講義の目的、授業の流れ等ガイダンスの説明。日本におけるボランティアの現状、ボランティアの定義、日本・欧米におけるボランティアの歴史について説明する。 また「民生委員・児童委員」「NPO」といった多様なボランティアの歴史を説明する。	一柳 大輔
	第2回	ボランティアに関する情報収集、ボランティアセンターの役割について ボランティア活動をスタートするにあたり、必要となる情報収集の方法について説明する。ボランティアセンターの組織や活動内容について説明し、各市区町村に設置されているボランティアセンターの活用方法を理解する。また、申請までのロールプレイングを行い、ボランティア参加までの流れを理解する。	一柳 大輔
	第3回	寄付と還元について 共同募金(赤い羽根共同募金)を例に寄付文化とその還元について説明する。寄付がどのようなかたちで使われているか、実際の事業を紹介し理解を深める。	一柳 大輔
	第4回	性的マイノリティとボランティア活動について 性的マイノリティに関連する団体の事業を紹介する。また、居場所事業・相談支援事業・啓発活動に関する紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。また、「アライ(支援者)」として性的マイノリティの方との交流を支援的側面に特化して説明する。	一柳 大輔
	第5回	生活課題を抱えた方への支援とボランティア活動について “複合的な課題”、“重層的な課題”等の生活課題を抱えている地域住民の事例紹介、そういった住民を対象とした居場所事業やコーディネート実践の紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。	一柳 大輔
	第6回	“ごみ屋敷”とボランティアについて ごみ屋敷の住人の多くは複合的な課題を抱えており、支援のあり方は非常に複雑であり、様々な専門職やボランティアが関わるケースが多い。ごみ屋敷の住人の支援において、ボランティアがどのように関わるかという視点で実際の事例をもとに説明をする。	一柳 大輔
	第7回	災害現場における災害ボランティアセンターの役割、災害ボランティアの活動について 我が国では、毎年、各地で自然災害が発生しておりこれらにより多くの人命や財産等が失われている。災害が発生した際に設置される災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティアの活動について説明し、医療専門職としてのかかわり方を考察する。	一柳 大輔
	第8回	ボランティア体験の実践紹介、ボランティアに関する企業の取り組みの紹介 講義をとおした学びとボランティア体験レポートの発表を行う。様々な背景を持つ学生同士で知見を共有、考察する。また、民間企業の社会貢献活動の取り組みを紹介し、卒後の専門職キャリアを歩むうえでのボランティア活動の捉え方を考察する。	一柳 大輔
	第9回	ボランティアの実践 ボランティア活動（活動日誌を作成する。）	衣川 隆・ 岩城 翔平
	第10回	ボランティアの実践 ボランティア活動（活動日誌を作成する。）	衣川 隆・ 岩城 翔平
	第11回	ボランティアの実践 ボランティア活動（活動日誌を作成する。）	衣川 隆・ 岩城 翔平
	第12回	ボランティアの実践 ボランティア活動（活動日誌を作成する。）	衣川 隆・ 岩城 翔平
	第13回	ボランティアの実践 ボランティア活動（活動日誌を作成する。）	衣川 隆・ 岩城 翔平
	第14回	ボランティアの実践 ボランティア活動（活動日誌を作成する。）	衣川 隆・ 岩城 翔平
	第15回	報告書のとりまとめ 事後学修（ボランティア体験レポートの提出）	衣川 隆・ 岩城 翔平
科目の目的	1. ボランティア活動の多様なあり方を理解する。 2. ボランティアに関連するステークホルダーを知り、他者を尊重し自身のかかわり方を考察す		

	<p>る。</p> <p>3. 医療専門職として地域社会に主体的かつ創造的に貢献できるようになる。</p> <p>【人間の尊厳と基本的人権】</p>
到達目標	<p>1. ボランティア活動の基本概念はもとより、歴史や現在の多様なニーズを理解し、ボランティアの意義を説明できる。</p> <p>2. 実践や体験を通して、地域社会のニーズやボランティア活動について説明できる。</p> <p>3. ボランティア・市民活動の実践を振り返り、医療専門職としての職業観の確立の基礎作りに寄与できる。</p>
関連科目	なし
成績評価方法・基準	授業内レポート(50%)・ボランティア体験レポート(50%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	個人として、または医療専門職として、どのようにボランティアと関わるかを自分なりに整理し、言語化できるようにしておくこと。テーマに沿って自分の気になるトピックスを学習おくこと。 準備学習に必要な時間の目安：1コマあたり2時間。
教科書	使用しない
参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、教室内での演習
ナンバリング	SBc-103

講義科目名称： 群馬の探求

授業コード： 2S017

英文科目名称： Exploring Gunma

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 「群馬の探求」 概論	星野 修平
	第2回 群馬と上毛かるた	星野 修平
	第3回 群馬の歴史	星野 修平
	第4回 群馬の文化	星野 修平
	第5回 群馬の経済	星野 修平
	第6回 群馬の社会	星野 修平
	第7回 群馬の医療	星野 修平
	第8回 (第7.5回) 「群馬の探求」 のまとめ	星野 修平
科目の目的	群馬パース大学のある群馬県は、豊かな自然に囲まれ、多くのアウトドア施設、観光資源、温泉、史跡、歴史的建造物など、様々な文化と歴史と共に歩んできた。また群馬県民は古くから「上毛かるた」と共に、その歴史や文化、人々の生活を知り、群馬の魅力と地域の特性、人との関わりを大切にしてきた。この科目では、群馬県の歴史、文化、経済、社会などを多角的に探求し、群馬の生活圏で生きる人々の県民性と保健医療を提供する医療体制について学ぶ。【DP 人間の尊厳と基本的人権】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県の歴史・文化・経済・社会の概要について説明できる。 ・群馬県の人と地域の特色について説明できる。 ・群馬県の健康・医療・福祉の概要について説明できる。 	
関連科目	コミュニケーション学入門、社会学、生活文化と医療、多文化理解、経済学、環境学、公衆衛生学、社会福祉・地域サービス論	
成績評価方法・基準	演習課題 (50%) ・ 課題レポート (50%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は7.5コマ (15時間) の講義科目のため、30時間分の準備学習時間 (1コマあたり4時間 (実時間数180分)) が必要であり、事前学習 (90分) ・ 事後学習 (90分) が目安となる。	
教科書	使用しない	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬学 手島 仁 朝日印刷工業 2010 ・大学的群馬ガイド こだわりの歩き方 高崎経済大学地域政策学部 観光政策学科編 昭和堂 ・地球の歩き方 群馬 2025~26 株式会社Gakken 	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」 参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」 参照	
履修条件・履修上の注意	授業中の演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC (Windows またはOS X) タブレット等を持参してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。	
ナンバリング	SBc-104	

講義科目名称： 環境学

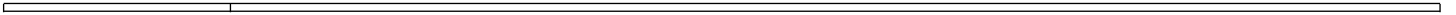
授業コード： 2S018

英文科目名称： Environmental Studies

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs 第2回 地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち 第3回 生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは 第4回 環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ 第5回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉍毒、四大公害病 第6回 有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として 第7回 水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD 第8回 水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり 第9回 気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加 第10回 気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測 第11回 気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定 第12回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー 第13回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と3R 第14回 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり 第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書	使用しない（プリント配布）	
参考書	新版 新しい環境科学 鈴木孝弘 駿河台出版社 ISBN978-4-411-04039-8C3040	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループ・ディスカッション	
ナンバリング	SBd-101	



講義科目名称： 基礎生物学

授業コード： 2S019

英文科目名称： Basic Biology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質 (1) ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質	嶋田 淳子
	第2回 生命を支える物質 (2) 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物 (糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質 (無機塩類)	嶋田 淳子
	第3回～4回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞 (細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割	嶋田 淳子
	第5回 DNA ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ	嶋田 淳子
	第6回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖、減数分裂 ②受精 ③初期発生と分化のしくみ ④形態形成とアポトーシス	嶋田 淳子
	第7回 生体防御と免疫 ①免疫細胞 ②サイトカイン	嶋田 淳子
	第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③遺伝病の原因—遺伝子変異	嶋田 淳子
	科目の目的	医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【多職種協働と地域社会活動の促進】
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。	
関連科目	化学、解剖学 I、生理学 I、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績 (80%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (20%) により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を 1 時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典 (岩波書店、東京化学同人社など) で調べ、理解しておくこと。	
教科書	「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄 (医歯薬出版株式会社)	

参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「Essential細胞生物学原書第4版」 中村桂子、松原謙一 監訳 (南工堂) 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルー-ボックス (講談社) 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 (羊土社)
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」 参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」 参照
履修条件・履修上の注意	基礎生物学分野の研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、教科書、講義資料等で予習後、履修することが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。
ナンバリング	SBd-102

講義科目名称： 生物学

授業コード： 2S020

英文科目名称： Biology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 遺伝子の転写・翻訳 ①遺伝子の転写 ②遺伝子の翻訳 ③原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ④エピジェネティクス</p> <p>第3回・4回 遺伝子の複製 ①遺伝子の複製 ②染色体の分配 ③染色体異常 ④遺伝病 ⑤細胞周期</p> <p>第5回・6回 がんとがん遺伝子 ①がんの原因 ②がん遺伝子とがん抑制遺伝子</p> <p>第7回・8回 細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチン-プロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞分裂の限界と老化</p>	<p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する生物学分野の研究進捗状況について理解する。【多職種協働と地域社会活動の促進】</p>	
到達目標	<p>基礎生物学の学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、発現調節、DNAの変異などについて知識を深める。 ②ヒトにおける染色体異常、および遺伝病について学び、説明できる。 ③がんの原因、がん遺伝子、がん抑制遺伝子について学ぶ。 ④細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。</p>	
関連科目	基礎生物学、基礎化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績（90%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（10%）により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。	
教科書	「人の生命科学」 佐々木 史江、堀口 毅、岸 邦和、西川 純雄（医歯薬出版株式会社）	
参考書	<p>1. 「Essential細胞生物学原書第4版」 中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂）</p> <p>2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻 D. サダヴァ他著 ブルー-バックス（講談社）</p> <p>3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）</p>	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。	
ナンバリング	SBd-103	

講義科目名称： 基礎数学

授業コード： 2S021

英文科目名称： Basic Mathematics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 展開・因数分解を復習する。 第2回 方程式と不等式 1次不等式, 2次方程式の復習をする。 第3回 2次関数 2次関数とそのグラフ, 2次関数の最大・最小, 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係性を復習する。 第4回 図形と計量 三角比, 正弦定理と余弦定理, 図形の計量を復習する。 第5回 個数の処理 順列, 組合せを復習する。 第6回 確率 事象と確率, 確率の性質, 反復試行の確率, 条件つき確率を復習する。 第7回 論理と命題 集合とその要素の個数, 命題と条件, 逆, 裏, 対偶を復習する。 第8回 データの分析 データの整理と特徴的な値(平均, 分散, 相関係数など)を復習する。	井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と計量、場合の数と確率、論理と命題、データの分析について学ぶ。【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	基礎統計学, 物理学, 化学, 情報処理, データサイエンス	
成績評価方法・基準	筆記試験(90%) + 小テスト(10%) なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度) 	
教科書	教科書：特になし 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
参考書	高校数学IAの教科書	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	SBd-104	

講義科目名称： 数学

授業コード： 2S022

英文科目名称： Mathematics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 三角関数 一般角と弧度法，三角関数の加法定理，三角関数の合成，和と積の変換 第2回 複素数 複素数の導入と計算方法，複素共役，剰余の定理，因数定理 第3回 指数関数と対数関数 指数法則，実数のべき，対数の導入，対数法則，底の変換公式 第4回 ベクトルと行列 ベクトル・行列の導入，基本的な性質 第5回 微分の導入 微分の定義，整式の微分，極大値・極小値 第6回 微分の基本性質 積・商の微分，合成関数の微分，三角関数・指数関数・対数関数の微分 第7回 積分の導入 積分の定義，整式の積分，図形の面積 第8回 積分の応用 置換積分，部分積分，三角関数・指数関数・対数関数の積分，微分方程式	井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一
科目の目的	医療従事者には、個々の患者の生理的状態や疾病状態、患者集団の動向などを種々のデータによって定量的にとらえ、分析・評価する能力が求められる。また患者への治療・検査刺激の量的な理解と評価も重要である。本科目はそれらのための基礎的数学知識の確認に加えて、発展的な知識を身につけ、専門科目の円滑な理解につなぐことを目指す。具体的には、三角関数、複素数、指数関数、対数関数、ベクトルと行列、微分・積分(数ⅡⅢ)、微分方程式などについて学ぶ。 【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	1. 医療や科学を学ぶためのやや進んだ数学的な知識と技能を学ぶ。 2. 数理現象を理解したり、評価したり、扱ったりする数学的なセンスを養う。	
関連科目	基礎数学，物理学，化学，情報処理，データサイエンス	
成績評価方法・基準	レポート試験(90%) + 小テスト(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学の教科書の該当する部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度) 	
教科書	教科書・参考書：特になし。 毎回，講義プリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 配布方法：各自印刷して授業に持参すること	
参考書	高校数学ⅡⅢの教科書	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義「基礎数学」も履修することが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	SBd-105	

講義科目名称： 基礎化学

授業コード： 2S023

英文科目名称： Basic Chemistry

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。</p> <p>第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。</p> <p>第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。</p> <p>第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。</p> <p>第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異な形、一般的な性質について解説する。</p> <p>第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。</p> <p>第7回 物質の変化における速度論と平衡論 物質の変化は、速度論と平衡論の両面から考察する必要がある。これらについて概説する。</p> <p>第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。</p>	日置 英彰 日置 英彰 日置 英彰 日置 英彰 日置 英彰 日置 英彰 日置 英彰 日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程で学修する内容を体系的に理解するための基礎的知識を身につけることを目的とする。【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	専門課程で学習する内容を体系的に理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（75%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（25%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ありませんが、毎回の講義の理解度を確保するために、講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。また、講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと、講義に関連する内容についてさらに深く学習したことについて、毎講義ごとにリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）を提出してもらいます。講義を通して30時間分の学習が必要です。	
教科書	看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人	
参考書	特に指定なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	
ナンバリング	SBd-106	

講義科目名称： 化学

授業コード： 2S024

英文科目名称： Chemistry

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病気と闘う化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように関わっているのか考える。	日置 英彰
	第2回 生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている。これら有機化合物の性質を官能基別に解説する。	日置 英彰
	第3回 酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する。	日置 英彰
	第4回 酸化と還元 物質の酸化と還元、生体内での酸化還元反応について解説する。	日置 英彰
	第5回 生体高分子 糖、タンパク質、核酸の化学構造とその性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している。化学反応における触媒の役割、酵素の構造と触媒作用について解説する。	日置 英彰
	第7回 合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている。各種高分子の性質と医療材料への応用について解説する	日置 英彰
	第8回 拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象の原理について解説する。	日置 英彰
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である。本講義ではその基本的知識を習得する。 【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	生体関連物質、医薬品、医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（75%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（25%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ありませんが、毎回の講義の理解度を確保するために、講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。また、講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと、講義に関連する内容についてさらに深く学習したことについて、毎講義ごとにリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）を提出してもらいます。講義を通して30時間分の学習が必要です。	
教科書	看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人	
参考書	特になし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	
ナンバリング	SBd-107	

講義科目名称： 基礎物理学

授業コード： 2S025

英文科目名称： Basic Physics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 物理量と単位 物理学で使用する数値や単位の表し方、理解に必要な数学的知識について学ぶ。	丸山 星
	第2回 運動 位置と変位、速度・加速度について学ぶ。	丸山 星
	第3回 さまざまな力とその働き① 物体にはたらく力とそのつり合い、運動の法則について学ぶ。	丸山 星
	第4回 さまざまな力とその働き② 落体の運動、水平面・斜面上の物体の運動について学ぶ。	丸山 星
	第5回 仕事とエネルギー 力学的エネルギーとその保存について学ぶ。	丸山 星
	第6回 温度と熱 温度と熱、内部エネルギーについて学ぶ。	丸山 星
	第7回 波の運動 波の性質、音と振動について学ぶ。	丸山 星
	第8回 電気と力 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。	丸山 星
科目の目的	医療従事者にとって最低限必要な一般教養としての基礎物理学を網羅的に学習する。 高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学の基本的概念と標準的な問題解決方法を身につけることを目的とする。 【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	物理学の基礎的概念を理解している。 物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	講義での演習（50%）、定期試験（50%：手書きのノートの持ち込み可）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料や確認問題をもとに事前学習（60分）・事後学習（60分）を行うこと。	
教科書	指定しない	
参考書	まるわかり！基礎物理 改訂2版、時政孝行 監修、南山堂、2021	
オフィス・アワー	メールにて随時対応します（maruyama@gchs.ac.jp）	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	物理学と併せて履修することをお勧めします。	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修、リアルタイムアンケートとフィードバック	
ナンバリング	SBd-108	

講義科目名称： 物理学

授業コード： 2S026

英文科目名称： Physics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 力のつり合いと運動の法則 力のモーメント、剛体の回転運動とつり合いについて学ぶ。 第2回 運動量と力学的エネルギー 運動量とその保存、衝突する物体の運動について学ぶ。 第3回 円運動と単振動 円運動する物体にはたらく力と、振動する物体について学ぶ。 第4回 熱力学 気体分子の運動と圧力の関係について学ぶ。 第5回 波の運動 波の屈折や反射、回折、干渉、音のドップラー効果について学ぶ。 第6回 電磁気（電気と力） 電界と電位、コンデンサのはたらきについて学ぶ。 第7回 電磁気（電流と磁界） 電流と磁界の関係、電磁誘導について学ぶ。 第8回 原子の構造と放射線 原子核の崩壊と放射線の種類について学ぶ。	丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星
科目の目的	医療従事者にとって必要な物理学を学習する。 高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学全体の基礎的な理解を深めることを目的とする。この科目の学習を通して、科学的・論理的な考え方を養い、物理現象を定性的・定量的に取り扱えるようにする。 【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	物理学の考え方が身につき、重要な概念を理解している。 物理学に関する問題を解決でき、物理現象を定量的・定性的に取り扱うことができる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	講義での演習（50%）、定期試験（50%：手書きのノートの持ち込み可）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料や確認問題をもとに事前学習（60分）・事後学習（60分）を行うこと。	
教科書	指定しない	
参考書	まるわかり！基礎物理 改訂2版、時政孝行 監修、南山堂、2021	
オフィス・アワー	メールにて随時対応します（maruyama@gchs.ac.jp）	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	基礎物理学と併せて履修することをお勧めします。	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修、リアルタイムアンケートとフィードバック	
ナンバリング	SBd-109	

講義科目名称： 基礎栄養学

授業コード： 2S027

英文科目名称： Basic Nutritional Science

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
本田 佳子			

授業形態	講義8回（演習時間を設ける講義回がある）		担当者
授業計画	第1回	栄養の概念、食物の摂取 栄養とは、空腹感と食欲、食事のリズムとタイミング	本田 佳子
	第2回	食物から食糧、栄養素成分から栄養 食糧の含有する栄養素成分、食事摂取基準と食物摂取	本田 佳子
	第3回	消化と吸収の概要とたんぱく質・糖質・脂質の消化吸収 3つの消化、吸収とは、管腔内消化と膜消化、消化管ホルモン、たんぱく質・糖質・脂質の消化吸収（消化酵素とその活性化、はたらき）の過程	本田 佳子
	第4回	糖質の栄養－食後及び空腹時の糖質代謝－ 血糖値とは、糖質の体内分布、食後及び空腹時の糖質代謝、他の栄養素との関係	本田 佳子
	第5回	脂質の栄養－脂質の体内動態－ 脂質の種類及び生理作用、脂質の臓器間輸送	本田 佳子
	第6回	たんぱく質の栄養－体内代謝－ たんぱく質の代謝回転、アミノ酸プール、窒素出納、たんぱく質の栄養価、制限アミノ酸、他の栄養素との関係 たんぱく質の代謝回転、アミノ酸プール、窒素出納、たんぱく質の栄養価、制限アミノ酸	本田 佳子
	第7回	ビタミンの栄養 脂溶性/水溶性ビタミンの構造、代謝と栄養学的機能、生物学的利用度、補酵素としての機能、生物学的利用度	本田 佳子
	第8回	ミネラル（無機質）の栄養、水・電解質の栄養的意義、エネルギー代謝 ミネラルの分類と栄養学的機能・生体機能、水の体内分布、水分出納、電解質の代謝、エネルギーとは	本田 佳子
科目の目的	栄養の基本的概念及びその意義から生命の維持活動について学び、ヒトが生きるうえで必要となる栄養素の消化・吸収・代謝の一連の過程を理解する。この授業は、原則として健康な成人を対象とした栄養学を学ぶが、このことは、将来的に臨床栄養学、医療栄養学、各専門とするケア・キューアを理解する上で必要となる。【多職種協働と地域社会活動の促進】		
到達目標	1) 食物の摂取と栄養素の消化吸収の過程について説明できる。 2) ヒトが生きるうえで必要となる栄養素の生体内における役割について説明できる。 3) 健康の保持・増進のために、摂取すべき栄養素の質と量について説明できる。		
関連科目	生化学、生理学、公衆衛生学、臨床栄養学、リハビリテーション医学、基礎運動療法学		
成績評価方法・基準	演習での成果物40%、筆記試験60%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	化学、生理学で学んだ代謝に関連した項目およびキーワードを復習 講義回につき2時間の予習・復習		
教科書	教科書「八訂食品成分表2025」（女子栄養大学出版社）		
参考書	本田佳子・曾根博仁編：栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学 基礎編 羊土社、本田佳子編：Visual栄養学テキスト 臨床栄養学Ⅰ 総論 中山書店、本田佳子編：新臨床栄養学 栄養ケアマネジメント 医歯薬出版		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、ディスカッションの実施		
ナンバリング	SBd-110		

講義科目名称： 基礎統計学

授業コード： 2S028

英文科目名称： Basic Statistics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
富田 浩			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーションおよび度数分布表とヒストグラムのつくり方 授業方法・学生評価方法等の説明，度数分布表およびヒストグラムについて学ぶ 第2回 データの中心をはかる指標 各指標の求め方，長所・短所などについて学ぶ 第3回 データの散らばりをはかる指標 各指標の求め方，長所・短所などについて学ぶ 第4回 順列と組み合わせ 順列および組合せの考え方，算出方法について学ぶ 第5回 確率 確率の求め方と確率の基本定理について学ぶ 第6回 確率変数と確率分布 主に，二項分布，正規分布について学ぶ 第7回 母平均の区間推定 標本の情報から母集団の平均を推定する方法について学ぶ 第8回 母比率の区間推定 標本の情報から母集団の比率を推定する方法について学ぶ	富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩
科目の目的	データを見る，処理する時に必要となる統計的な見方・考え方を学び，将来，仕事などで統計を用いる際の土台をつくる。 【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	基本統計量のもつ意味が説明できる 主な確率分布の概要について説明できる 母平均・母比率の区間推定ができる	
関連科目	基礎数学，AI・データサイエンス・リテラシー	
成績評価方法・基準	筆記試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：教科書（各回授業該当部分）を確認する（60分程度） 復習：授業内容と教科書の再確認，練習問題を解く（120分程度）	
教科書	「初歩からの統計学 第2版」白砂堤津耶（日本評論社）	
参考書	「Excelによるメディカル/コ・メディカル統計入門」勝野恵子・井川俊彦（共立出版）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	例題・練習問題の実施	
ナンバリング	SBd-111	

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 2S029

英文科目名称： General English Reading

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 まゆみ			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction Lesson 1 Communication 授業の説明 自己紹介 現在形 第2回 Lesson 2 Friendship 過去形 第3回 Lesson 3 Health and Environment 現在完了形 第4回 Lesson 4 Gender Equality 未来表現 第5回 Lesson 5 Fashion 助動詞① 第6回 Lesson 6 Food 助動詞② 第7回 Lesson 7 The History of YouTube 比較をする表現① 第8回 Lesson 8 Study Abroad 比較をする表現② 第9回 Lesson 9 College Life in the U. S. 受け身、使役 第10回 Lesson 10 Olafur Eliasson 関係詞① 第11回 Lesson 11 Volunteer Work 関係詞② 第12回 Lesson 12 Career 形容詞用法 第13回 Lesson 13 Travel 仮定法 第14回 Lesson 14 Culture 話法 第15回 Lesson 15 An International World ディスコース標識	井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通じて、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。 	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験 (60%) 課題(30%) extensive reading(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。 extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。	
教科書	教科書：Journeys: Communication for the Global Age 阿野幸一ほか4名 (朝日出版社)	
参考書	なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。	

の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	SBe-101

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 2S030

英文科目名称： Medical English Reading

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 まゆみ			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction Test Your Reading Skill 授業の説明、各自のreading skillのチェック、単語力のチェック。 第2回 Unit 1 How Food Passes Through Our Body topicの英文読解、内容の把握。 第3回 Unit 2 Coping with Cancer topicの英文読解、内容の把握。 第4回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。 第5回 Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。 第6回 Unit 5 How Are Drugs Developed? topicの英文読解、内容の把握。 第7回 Unit 6 What Comes First when Helping Others topicの英文読解、内容の把握。 第8回 Unit 7 How to Identify Reliable Health Information topicの英文読解、内容の把握。 第9回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。 第10回 Unit 9 Actions Speaks Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。 第11回 Unit 10 Genetic Counseling as an Emerging Field topicの英文読解、内容の把握。 第12回 Unit 11 Can Medical Tourism Be a White Knight? topicの英文読解、内容の把握。 第13回 Unit 12 Hopes in Regenerative Medicine topicの英文読解、内容の把握。 第14回 Unit 13 Traditional Medicine in the Modern World topicの英文読解、内容の把握。 第15回 Unit 14 Japan's Healthcare System Is the Envy of the World Reading Skill のチェック topicの英文読解、内容の把握。各自のreading skillの再チェック。単語力の再 チェック。	井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、リスニング力、表現力の養成と強化。医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 ・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 ・テキストの音声聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。 ・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで書くことができる。 	
関連科目	英語リーディング 医療英語会話 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験（70%） 課題（30%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。 復習：その日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発音できるように音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。 予習復習合わせて約1時間。	
教科書	教科書：Medical World Walkabout 大野直子&ダシルヴァ石田牧子（成美堂）	
参考書	なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。	

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	SBe-102

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 2S031

英文科目名称： General English Conversation

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: I'm sorry. What's your name again? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews
	第3回 小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews
	第4回 小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews
	第5回 小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) + 第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーション + Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews
	第7回 小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews
	第8回 小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews
	第9回 小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews
	第10回 小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) + 第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities + プレゼンテーションの準備	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第2回目のプレゼンテーション + Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews
	第12回 小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews
	第13回 小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews
	第14回 小テストU10 および Unit 11: Lost and Found + 第3回目のプレゼンテーション準備 Describing an item you have lost + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第15回 第3回目のプレゼンテーション + Unit 12: How was your vacation? 第3回目のプレゼンテーション + Talking about your experiences	David Andrews
科目の目的	本授業では、英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身に付け、様々な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。【キーワード：【多職種協働と地域社会活動の促進】】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや身の回りのことについて英語で伝えることができる。 ・様々な場面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。 ・英語圏の文化や風習を理解する。 	
関連科目	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	授業中の課題 (5%)、小テスト (30%)、第1回目のプレゼンテーション (15%)、第2回目のプレゼンテーション (20%)、第3回目のプレゼンテーション (30%) 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、プレゼンテーションの準備時間は合わせて6時間程度。	
教科書	教科書：使用せず 適宜、教材用資料を配布	

参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中のスマホ使用は原則禁止。予習は必ずすること。積極的に参加すること。定期試験無し。
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション
ナンバリング	SBe-103

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 2S032

英文科目名称： Medical English Conversation

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SBe-201	

講義科目名称： 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード： 2S033

英文科目名称： Academic Reading and Writing in English

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3・4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SBe-301	

講義科目名称： 国際コミュニケーション英語

授業コード： 2S034

英文科目名称： English for International Communication

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3・4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SBe-302	

講義科目名称： 中国語

授業コード： 2S035

英文科目名称： Chinese

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 自己紹介 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 教室で 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 キャンパスで 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 友達と 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 ファストフード店で 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 待ち合わせ 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 旅行 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 アルバイト 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 風邪 単語 本文 ポイント 練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1コマあたり60分程度必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書	教科書：キャンパスで始める中国語（白帝社）
参考書	参考書：なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	SBf-101

講義科目名称： コリア語

授業コード： 2S036

英文科目名称： Korean

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として「混ぜる食文化」を紹介する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶、伝統服を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として韓国の包む文化～「サム料理」を紹介する。	青木 順
	第6回 ハングルの読み方 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	グローバルな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。 【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
関連科目	特になし。	

成績評価方法・基準	課題への取り組み (40%) ・期末テスト (60%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、1コマ当たり1時間を目安に積極的に取り組むこと。
教科書	講師作成教材使用予定(コピー)
参考書	特になし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。
アクティブ・ラーニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。
ナンバリング	SBf-102

講義科目名称： ドイツ語

授業コード： 2S037

英文科目名称： German

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
伊藤 貴康			

授業形態	講義	担当者
授業計画	Lektion1 動詞の現在人称変化1	伊藤 貴康
	Lektion2 名詞と冠詞の格変化	伊藤 貴康
	Lektion3 名詞の複数形・人称代名詞	伊藤 貴康
	Lektion4 動詞の現在人称変化2・命令法	伊藤 貴康
	Lektion5 定冠詞類・不定冠詞類	伊藤 貴康
	Lektion6 前置詞	伊藤 貴康
	Lektion7 話法の助動詞・未来形・非人称動詞	伊藤 貴康
	Lektion8 分離動詞と非分離動詞・接続詞	伊藤 貴康
	Lektion9 動詞の三基本形・過去人称変化	伊藤 貴康
	Lektion10 現在完了・再帰表現	伊藤 貴康
	Lektion11 形容詞の格変化	伊藤 貴康
	Lektion12 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	伊藤 貴康
	Lektion13 関係代名詞・指示代名詞	伊藤 貴康
	Lektion14 受動態	伊藤 貴康
	Lektion15 接続法	伊藤 貴康
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【多職種協働と地域社会活動の促進】	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01272-9を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。	
参考書	CD付き オールカラー超入門！書いて覚えるドイツ語ドリル（ナツメ社）978-4816362538	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	SBf-103	

講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：2S038

英文科目名称：Portuguese

対象カリキュラム：2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.	Hilda Harumi Handa
	第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa
	第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa
	第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa
	第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa
	第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa
	第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa
	第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa
	第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa
	第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa
	第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa
	第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa
	第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa
	第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa

	第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会が多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【多職種協働と地域社会活動の促進】</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
教科書	Teacher will provide handouts.	
参考書	Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	discussion , conversation and pair work	
ナンバリング	SBf-104	

講義科目名称：メディア・リテラシー

授業コード：2S039

英文科目名称：Media Literacy

対象カリキュラム：2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
米持 圭太			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要とパーソナルコンピュータの利用について	米持 圭太
	第2回 コンピュータの基礎 ハードウェアとソフトウェア ソフトウェア 情報システム	米持 圭太
	第3回 情報の形態と収集の方法 情報の形態 情報蓄積の形態 クラウド環境の情報 検索エンジン 情報収集の技術 情報収集の応用	米持 圭太
	第4回 インターネットの仕組みとWebシステム インターネットの概要 通信機能の階層化 IPアドレスの仕組み パケット通信の仕組み 通信の経路を選ぶ仕組み データを確実に送り届ける仕組みと素早く送り届ける仕組み アプリケーション層のプロトコル 直接接続する機器の通信 Webアプリケーションの仕組み クラウドコンピューティング	米持 圭太
	第5回 情報の伝達 ソーシャルネットワーキングサービス ブログ 電子掲示板 電子メール ソーシャルメディア 電子書籍	米持 圭太
	第6回 レポートの作成と編集 レポートとは 主題を決める 構造化を考える 内容を作り込む 数式表記 創造的レポートに向けて	米持 圭太
	第7回 レポートの作成演習 レポート作成の演習 ワープロによる文章作成	米持 圭太
	第8回 情報のデータ化と分析・マイニング 情報とデータ データの整理 データの可視化 データマイニング テキストマイニング	米持 圭太
	第9回 情報のデータ化と分析・マイニング演習 情報のデータ化と分析の演習 スプレッドシートによる分析	米持 圭太
	第10回 モデリングとシミュレーション モデルとデータ 確率的現象 傾向と予測 未来を予測する	米持 圭太

	第11回	モデリングとシミュレーション演習 モデリングとシミュレーションの演習 スプレッドシートによる予測	米持 圭太
	第12回	プレゼンテーションの方法 シナリオシートの作成と基本的な操作 プレゼンテーションの実際 技術の進歩とプレゼンテーションの変化	米持 圭太
	第13回	プレゼンテーション演習 プレゼンテーションの演習 プレゼンテーションの作成	米持 圭太
	第14回	セキュリティと法令順守 情報セキュリティ 情報漏えい対策法 インターネット社会の特性 情報社会の法令 デジタルコミュニケーション	米持 圭太
	第15回	ICT活用の問題解決 問題解決の基本的手順とICTの役割 情報を客観的にとらえる インターネットを利用した情報発信 問題解決におけるシミュレーションの利用	米持 圭太
科目の目的	現代社会には情報があふれており、私たちは様々なメディアから情報を取得し活用する。情報活用や情報操作を行うスキルを身につけるため、コンピュータやコンピュータネットワークの基本的概念と構成、仕組みを理解し、情報社会における情報の意味を理解することが求められる。本科目では大学での学び（学習と研究や臨床実践）をより充実させるため、パーソナルコンピュータやマルチメディアの基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。【探求力と問題解決力】		
到達目標	情報社会におけるコンピュータやインターネットの仕組み理解し、情報の活用、意味、伝達の意義について学習する。 個別目標： 1. 情報の基本的概念について説明できる。 2. コンピュータとコンピュータネットワークの仕組みについて説明できる。 3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。		
関連科目	情報リテラシー、データサイエンス入門		
成績評価方法・基準	演習課題（50%） ミニテスト（50%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業（90分）、事前自己学習（60分）、関連項目の事後学習（60分）		
教科書	標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022		
参考書	入門情報処理 ―データサイエンス、AIを学ぶための基礎― 寺沢 幹雄・福田 収 著 オーム社 2022		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	MS-Office（MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint）、ウェブブラウザをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。		
ナンバリング	SBg-101		

講義科目名称： AI・データサイエンス・リテラシー

授業コード： 2S040

英文科目名称： AI and Data Science Literacy

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
河内 和直			

授業形態	講義と演習	担当者
授業計画	<p>第1回 社会におけるデータ・AI活用① 本科目の概要/データサイエンスとは/社会で起きている変化/社会で活用されているデータ/パソコン</p> <p>第2回 社会におけるデータ・AI活用② データ・AIの活用領域/データ・AI利活用の技術、現場、最新動向</p> <p>第3回 Excelの基本的な操作方法 Excelの概要/基本的な表・グラフの作成</p> <p>第4回 時系列データの可視化 データのダウンロード/時系列データのグラフ作成と編集</p> <p>第5回 平均値の算出とその可視化 平均の算出/平均の可視化/グラフの比較</p> <p>第6回 標準偏差の算出とその可視化 標準偏差の算出/標準偏差の可視化/グラフの比較</p> <p>第7回 大量のデータを扱う方法 平均と標準偏差/平均±標準偏差の算出/グラフの作成</p> <p>第8回 基本統計量の算出と箱ひげ図① データの要約/基本統計量</p> <p>第9回 基本統計量の算出と箱ひげ図② 五数要約/箱ひげ図</p> <p>第10回 度数分布表の作成とヒストグラム 度数分布表/ヒストグラム</p> <p>第11回 散布図の作成と相関係数の算出① データの相関/散布図</p> <p>第12回 散布図の作成と相関係数の算出② ピアソンの相関係数/相関行列</p> <p>第13回 定性データの扱い方とクロス集計 定性データ/クロス集計表/ピボットグラフ</p> <p>第14回 データ・AI活用における留意事項 倫理・法的・社会的課題/データ倫理/セキュリティ</p> <p>第15回 総括 AI・データサイエンス・リテラシーの総括</p>	河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直 河内 和直
科目の目的	現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビッグデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。【探求力と問題解決力】	
到達目標	データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。 個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。	
関連科目	情報処理、情報リテラシー、医療統計学	
成績評価方法・基準	授業中に提出する演習課題(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習(90分)で理解し、授業を通して学んだことの事後学習(45分)	
教科書	改訂新版 AI・データサイエンス・リテラシー入門, 吉岡剛志, 森倉悠介, 小林 領, 照屋健作 共著 2024	
参考書	・データサイエンスの考え方, 小澤誠一, 齊藤政彦 共著 オーム社 ・改訂新版 初めてのAIリテラシー, 岡嶋裕史 技術評論社	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上の注意	MS-Excelをインストールしたパソコン(Windows, PCMac等)を持参してください.
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない
ナンバリング	SBg-102

講義科目名称： AI・ロボットと社会

授業コード： 2S041

英文科目名称： AI, Robots, and Society

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	演習	担当者
授業計画	<p>第1回 「AI・ロボットと社会」について</p> <p>第2回 人工知能(Artificial Intelligence: AI)の歴史と概要</p> <p>第3回 ロボット研究と社会</p> <p>第4回 対話型ロボットとロボット社会</p> <p>第5回 アンドロイドとヒューマノイド</p> <p>第6回 AI・ロボットの自律性</p> <p>第7回 AI・ロボットの心・対話</p> <p>第8回 AI・ロボットの身体</p> <p>第9回 人間と共生するAI・ロボット</p> <p>第10回 AI・ロボットの意思決定アルゴリズム</p> <p>第11回 アルゴリズムミック・バイアス</p> <p>第12回 人間行動認識</p> <p>第13回 人間行動認識のためのデータ計測</p> <p>第14回 機械学習による人間行動認識</p> <p>第15回 「AI・ロボットと社会」の未来</p>	<p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p>
科目の目的	人工知能(Artificial Intelligence: AI)は、現在自動運転技術やAIロボット、AIスピーカーなどで社会実装され、様々な分野で急速に発展・普及している。今後の日本における社会問題である人口減少、少子高齢化、人材不足などに対応するため、AIやAIロボットの需要はさらに高まると予想され、新たな産業構造変化でもAIの活用が期待される。この講義では、生活の中に組み込まれるAIに関する基本的知識を学び、AIロボットなどで利用されるAI技術と活用事例を通して、その意義について理解する。【DP 探求力と問題解決】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能(Artificial Intelligence: AI)の基本的事項について説明できる。 AIロボットなどの社会実装に意義について説明できる。 AIと人間を対比させて、心と身体について理解する。 	
関連科目	心理学入門、コミュニケーション学入門、メディア・リテラシー、AI・データサイエンス・リテラシー、AI・プログラミング入門、多職種理解と医療コミュニケーション	
成績評価方法・基準	授業内で実施する演習課題 (50%) ・課題レポート (50%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は15コマ (30時間) の演習科目のため、30時間分の準備学習時間 (1コマあたり2時間 (実時間数90分)) が必要であり、事前学習 (30分) ・事後学習 (30分) が目安となる。	
教科書	使用しない	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ロボットと人間 人とは何か 石黒 浩 岩波新書 AIの心理学 Tobias Bare オライリー・ジャパン センサと機械学習で始める人間行動認識 荒川 豊・石田 繁巳・松田 裕貴 他 電気書院 	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC (Windows またはOS X) を持参してください。	

アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	SBg-103

講義科目名称： AI・プログラミング入門

授業コード： 2S042

英文科目名称： Introduction to AI and Programming

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SBg-201	

講義科目名称： スタディ・スキルズ

授業コード： 2S043

英文科目名称： Study Skills

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平	David Andrews	峯村 優一	井上 暁子
	衣川 隆	岩城 翔平	伊藤 栞

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 スタディ・スキル① ・大学生になるということ ・ループリックの解説</p> <p>第2回 ライフスキル① パス大学設立の歴史、建学の精神、基本理念 (樋口理事長 特別講義)</p> <p>第3回 ライフスキル② ・学生生活の過ごし方 ・学生生活で求められる道徳や倫理・マナー</p> <p>第4回 スタディ・スキル② ・履修計画</p> <p>第5回 コミュニケーションスキル① ・対人コミュニケーション</p> <p>第6回 コミュニケーションスキル② ・言語コミュニケーション ・異文化コミュニケーション</p> <p>第7回 ライフスキル③ ・キャリアデザイン (キャリアサポートセンター)</p> <p>第8回 (第7.5回) ライフスキル④ 大学生に求められる教養とは</p>	<p>星野 修平</p> <p>衣川 隆</p> <p>峯村 優一</p> <p>井上 暁子</p> <p>伊藤 栞</p> <p>David Andrews</p> <p>岩城 翔平</p> <p>星野 修平</p>
科目の目的	<p>社会人に出てから必要とされる教養は、幅広いジャンル、様々専門分野の多くの知識に触れることで多様な価値観や考え方を身につけ、学ぶ力(スタディ・スキル)を身につけることが重視される。大学4年間で社会が求める教養力を身につけるには「専門の知」から自身の成長とともに「深い問い」を自問し、自ら容易に答えの得られない「問い」を追い続けるための持続的な教養スキルが求められる。この授業では、大学生に求められる「スタディ・スキル」を獲得することを目的とする。</p> <p>スタディ・スキルを①ライフ・スキル、②コミュニケーション・スキル、③スタディ・スキルの3つのパートとして捉え、関係するトピックを交え、オムニバス形式で授業展開を行う。また、学修活動には「自己学習力シート」を利用し、ループリックを活用した主体的な学びを目指す。【DP 探求力と問題解決力】</p>	
到達目標	<p>1. 社会の中で生きる意義について自ら考えることができる</p> <p>2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。</p> <p>3. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術を理解し、授業やレポート作成で実践できる。</p>	
関連科目	全ての授業科目	
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加態度30% (課題への取り組みなど) ・学修内容の理解・修得度40% (フィードバックシート、ワークシートなど) ・学修目標の達成度30% (レポートなど) 	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は7.5コマ(15時間)の演習科目のため、30時間分の準備学習時間(1コマあたり4時間(実時間数180分))が必要であり、事前学習(90分)・事後学習(90分)が目安となる。	
教科書	使用しない	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のための社会人入門 柴岡新一郎 監著 技術評論社 ・スタディスキルズ・トレーニング 改訂版 吉原恵子 他 実教出版 ・大学生のためのキャリアガイドブック Ver.2 寿山 泰二 他 北大路出版 	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC(Windows またはOS X)を持参してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。	
ナンバリング	Sch-101	

講義科目名称： アカデミック・スキルズ

授業コード： 2S044

英文科目名称： Academic Skills

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平	David Andrews	峯村 優一	徳永 慎也

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 リサーチ・リテラシー①	星野 修平
	第2回 リサーチ・リテラシー② 藤田学長 特別講義	星野 修平
	第3回 アカデミック・リーディング①	David Andrews
	第4回 アカデミック・ライティング①	David Andrews
	第5回 アカデミック・リーディング②	徳永 慎也
	第6回 アカデミック・ライティング②	徳永 慎也
	第7回 リサーチ・リテラシー③	峯村 優一
	第8回 (第7.5回) リサーチ・リテラシー④	星野 修平
科目の目的	医療専門職になるためには、大学教育によって専門的な知識・技術を獲得する能力とその対象とされる人間を深く理解し、尊厳を尊重し、生きることへの深い執着と感動に共感できる人間力が重要である。高度な医療専門職になるために必要な生涯にわたって学び続けるための力（アカデミック・スキル）を身につけることを目的とする。 アカデミック・スキルを①アカデミック・リーディング、②アカデミック・ライティング、③リサーチ・リテラシーの3つのパートとして捉え、関係するトピックを交え、オムニバス形式で授業展開を行う。 また、学修活動には「自己学習力シート」を利用し、ループリックを活用した主体的な学びを目指す。【DP 探求力と問題解決力】	
到達目標	”1. 大学での学ぶ意義と学習に必要な学習習慣・学習技術を理解し、授業やレポート作成で実践できる。 2. 学術の知と探求に意義を見出し、自ら学ぶ姿勢を持ち、多角的な視点での理解を深める。 3. 医療専門職の基盤となる学術に興味を持ち、クリティカル・リーディングの手法を身につける。”	
関連科目	全ての授業科目	
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加態度 30%（課題への取り組みなど） ・学修内容の理解・修得度 40%（フィードバックシート、ワークシートなど） ・学修目標の達成度 30%（レポートなど） 	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は7.5コマ（15時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり4時間（実時間数180分））が必要であり、事前学習（90分）・事後学習（90分）が目安となる。	
教科書	使用しない	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 佐藤望 監著 慶應義塾大学出版会 ・ピア活動で身につけるアカデミック・スキル入門 伊藤奈賀子 有斐閣ブックス ・大学生のためのリサーチ・リテラシー入門 研究のための8つの力 山田剛史 ミネルヴァ書房 	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC（Windows またはOS X）を持参してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。	
ナンバリング	SCh-102	

講義科目名称： 多職種理解と医療コミュニケーション

授業コード： 2S045

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Medical Communication

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平	伊藤 栞・峯村 優一 井上 暁子	齋藤 基・村田 和香	松下 誠・本田 佳子
授業形態	講義と演習		担当者
授業計画	<p>第1回 多職種で構成される専門職の理解</p> <p>第2回 多職種連携とチーム・アプローチの基本構造</p> <p>第3回 多職種連携を支える医療情報連携</p> <p>第4回 多職種連携・チーム医療を支える医療倫理</p> <p>第5回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職① 医師（群馬パース病院 國元病院長特別講義）</p> <p>第6回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職② 看護系専門職</p> <p>第7回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職③ リハビリテーション系専門職</p> <p>第8回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職④ 医療技術系専門職</p> <p>第9回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑤ 薬学系専門職</p> <p>第10回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑥ 栄養学系専門職</p> <p>第11回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑦ 福祉系専門職</p> <p>第12回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑧ 心理学系専門職</p> <p>第13回 医療面接と医療コミュニケーション</p> <p>第14回 患者と患者家族、医療専門職の心理</p> <p>第15回 多職種連携とチーム医療の未来</p>		<p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>峯村 優一</p> <p>星野 修平</p> <p>齋藤 基</p> <p>村田 和香</p> <p>松下 誠</p> <p>星野 修平</p> <p>本田 佳子</p> <p>井上 暁子</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>伊藤 栞</p> <p>星野 修平</p>
科目の目的	<p>人間を取りまく保健・医療・福祉・介護のアプローチは、国家資格を基本とする高度医療専門職で構成する多職種連携チームで行われる。医療専門職は、職種を形成する法的根拠に基づき専門知識と技術を有し、その育成段階においては、広い他職種の相互理解から、より専門的なプロフェッショナルリズム教育を経て、専門的知識、技術を習得し、その成果として国家資格受験資格を獲得する。この科目では、多職種連携チームを構成する医療専門職の役割と特徴、プロフェッショナルリズム教育の目的と意義について学ぶ。また、コミュニケーションの基本である言語・非言語コミュニケーション、診療情報の伝達と共有による医療情報連携の基本や患者と医療専門職者間で行われる医療コミュニケーションの基本と技術を学ぶ。【DP 探求力と問題解決力】</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 多職種で構成される医療専門職について法的根拠と責任について説明できる。 多職種で構成される医療について、その特徴と機能について説明できる。 医療コミュニケーションの特徴について説明できる。 		
関連科目	心理学入門、コミュニケーション学入門		
成績評価方法・基準	授業内で実施する演習課題（50%）・課題レポート（50%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は15コマ（30時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり2時間（実時間数90分））が必要であり、事前学習（45分）・事後学習（45分）が目安となる。		
教科書	コミュニケーション論・多職種連携論 内山 靖・藤井浩美・立石雅子編 医歯薬出版2021		
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 医療者のためのコミュニケーション入門 杉本なおみ 精神看護出版 医療コミュニケーション 実証研究への多目的アプローチ 医療コミュニケーション研究会 篠原出版新社 事例で学ぶ 医療コミュニケーション・スキル マーガレット・ローイド 西村書店 		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC (Windows またはOS X) を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	SCh-103

講義科目名称： 解剖学総論

授業コード： 2S046

英文科目名称： Introduction to Human Anatomy

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 解剖学総論と骨学総論 基準面；運動の名称；人体の階層性（上皮組織、結合組織、骨組織、筋組織）；皮膚の構造；骨の顕微構造；骨化；骨のリモデリング；不動関節と可動関節；滑膜性関節の一般的構造；四肢体幹骨と関節の名称と位置	後藤 遼佑
	第2回 筋系 筋の顕微構造；筋組織の分類（骨格筋、平滑筋、心筋）；筋のテコ；主動作筋と協同筋、拮抗筋；屈筋と伸筋の区別；代表的な四肢体幹部の骨格筋	後藤 遼佑
	第3回 神経系 中枢神経の領域；体性神経と臓性神経；自律神経；大脳の構成；大脳新皮質の機能局在；大脳髓質を構成する神経線維の分類；主要な神経核；末梢神経（脳神経、脊髄神経特に肋間神経の走行、神経叢）	後藤 遼佑
	第4回 感覚器系 嗅覚、視覚、平衡感覚、聴覚にかかわる感覚受容器の肉眼構造	後藤 遼佑
	第5回 循環器系 胸郭の肉眼構造（胸膜と心膜、横隔膜）；心臓の肉眼構造（外観、心房と心室、刺激伝導系、冠状動脈）；血管の一般的構造；主要な血管の走行；奇静脈系；皮静脈系；リンパ系	後藤 遼佑
	第6回 呼吸器系 気道と呼吸部；喉頭の肉眼構造（喉頭を構成する軟骨；内喉頭筋；前庭ヒダと声帯ヒダ；喉頭前庭；喉頭室；声門下腔）；気管の肉眼構造；気管の分類；肺の肉眼構造	後藤 遼佑
	第7回 消化器系 腹腔の構造；腹膜（臓側腹膜、壁側腹膜、間膜；小網と大網）と後腹膜；消化管の一般的構造；胃、小腸、大腸の肉眼構造；肝臓と門脈	後藤 遼佑
	第8回 泌尿生殖器系 腎臓の顕微構造と肉眼構造；膀胱の肉眼構造；会陰の肉眼構造；生殖器	後藤 遼佑
科目の目的	人体を構成する各器官系の位置と構造を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。【専門知識と基本的技術】	
到達目標	(1) 解剖学用語を正しく使うことができる。 (2) 各器官系の構造について正しい選択肢を選ぶことができる。	
関連科目	口腔解剖学、基礎生理学	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目では、授業1コマあたり予習に2時間、事後学習に1時間半の学習を基本とする（1単位45時間の学習が必要とされ、そのうち授業時間に相当する16時間を除く残りの29時間を各自の学習において補う必要がある）。予習を中心として、教科書の該当範囲の通読と授業内で指示した内容を各自で学習すること。	
教科書	教科書：「言語聴覚士のための解剖・生理学 第1版」小林靖（医歯薬出版株式会社） 教科書：ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第3版 前田健康監訳（医歯薬出版株式会社）	
参考書	該当なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	SFi-101	

講義科目名称： 口腔解剖学

授業コード： 2S047

英文科目名称： Oral Anatomy

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 口腔解剖学概説 口腔、歯、歯周組織それぞれの部位の名称、専門用語 第2回 歯、歯周組織の構造 歯を構成する組織、歯周組織の構造、特徴 第3回 永久歯の形態 切歯・犬歯・小臼歯・大臼歯の形態 第4回 乳歯の形態 乳切歯・乳犬歯・乳臼歯 第5回 口腔の形成 口唇・口腔の形成・鰓弓・乳歯・永久歯の形成・萌出の時期 第6回 口腔内蔵 舌・唾液腺・その他の構造 第7回 口腔周囲の骨・筋 上顎骨・下顎骨・その他の骨・咀嚼筋・舌骨上筋群・舌骨下筋群・表情筋・咽頭筋・喉頭筋 第8回 口腔に分布する血管・神経 外頰動脈の枝・三叉神経・顔面神経・舌咽神経・迷走神経・舌下神経	浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎
科目の目的	多職種連携において歯科医療従事者と協働する際に必要となる歯科の専門用語を教授し、より円滑な連携を行うことができる知識・能力を習得せしめる。【専門知識と基本的技術】	
到達目標	歯科に関する解剖学用語を習得しており、歯科医療従事者と密接なコミュニケーションをとることができる。	
関連科目	解剖学総論、歯科・口腔外科学、口腔運動医学	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	シラバスをもとに授業該当箇所の予習と復習を合計3時間行う必要がある。	
教科書	「ネッター 頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス（原著第3版）」Neil S.Norton著 前田健康監訳 医歯薬出版	
参考書	特に無し。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義は板書で進めるのでノートを用意してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。	
ナンバリング	SFi-102	

講義科目名称： 基礎生理学

授業コード： 2S048

英文科目名称： Fundamentals of Physiology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス からだの構造と機能の基本 本講義を受講するにあたっての心構えや、人体を構成する分子、細胞、組織とそれらのはたらきについて概説する 第2回 筋系、血液と免疫系 骨格筋の機能、血液の機能 第3回 循環器系 心臓と血管の機能について概説する 第4回 呼吸器系、消化器系 呼吸器系の機能、消化器系の機能について概説する 第5回 泌尿器系、内分泌系 泌尿器系の機能、内分泌系の機能について概説する 第6回 感覚器系 感覚器系の機能について概説する 第7回 神経系1 神経系の機能について概説する 第8回 神経系2 神経系の機能について概説する	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な専門知識と基本的技術を身につける(ディプロマポリシー：【専門知識と基本的技術】)	
到達目標	正常な人体の機能やそれを生み出すしくみの基礎について、選択肢の中から正しく選択できる	
関連科目	解剖学総論、局所解剖学、基礎病理学 他	
成績評価方法・基準	期末テストのみ(100%) で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および期末テストの内容は、配布資料に準ずる。また、配布資料は下記教科書から作成している そのため、教科書や配布資料を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約4時間)	
教科書	「言語聴覚士のための解剖・生理学 第1版」(医歯薬出版株式会社)	
参考書	「シンプル生理学 第7版」(南江堂) 「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	7.5コマ講義なので、3回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	SFi-103	

講義科目名称： 基礎病理学

授業コード：

英文科目名称： Fundamentals of Pathology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病理学序論・医学における病理学の位置付け 病理学の定義と他領域との関連性	田村 遵一
	第2回 病理学の基本四分類と細胞障害 アポトーシス、壊死	田村 遵一
	第3回 炎症（基礎編） 炎症の原因と変化	田村 遵一
	第4回 腫瘍（基礎編） 腫瘍の特徴と分類	田村 遵一
	第5回 循環障害（基礎編） 循環障害の原因と結果	田村 遵一
	第6回 変性（基礎編） 代謝異常、	田村 遵一
	第7回 遺伝子と免疫の異常（基礎編） 遺伝病、自己免疫疾患等	田村 遵一
	第8回 病理学まとめ これまでに学んだ病理学等について小論文を作成	田村 遵一
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【専門知識と基本的技術】	
到達目標	1. 疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2. 疾病の検査事項を説明できる。 3. 疾病の病理所見を説明できる。	
関連科目	解剖学総論	
成績評価方法・基準	定期試験成績（80％）と出席点（20％）成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書	教科書：講師が配布する資料（授業ごとに配布する）	
参考書	参考書：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	特になし	
ナンバリング	SFi-104	

講義科目名称： 医療危機管理（窒息・誤嚥・吸引含む）

授業コード： 2S050

英文科目名称： Medical Risk Management

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
白田 滋	酒井 哲郎	白坂 康俊	岡野 由美
	齋藤 吉人	遠藤 俊介	

授業形態	講義及び演習	担当者
授業計画	第1回 医療安全総論 患者の安全を最優先に考え、その実現を目指す医療安全の考え方や歴史などについて解説します。	白田 滋
	第2回 リハビリテーションにおける医療安全 リハビリテーションにおける医療安全の考え方について解説します。	白田 滋
	第3回 ヒューマンエラー ヒューマンエラーの防止のための取り組み方について解説します。	白田 滋
	第4回 安全対策 転倒事故、窒息事故、患者の誤認などに対する対策について解説します。	白田 滋
	第5回 感染対策 院内、施設内感染などの感染症に対する対策について解説します。	白田 滋
	第6回 リハビリテーションの中止基準 運動負荷を伴う介入などにおけるリハビリテーションの中止基準について解説します。	白田 滋
	第7回 医療安全に関する取り組み 医療安全に関する制度、医療事故が発生した場合の対応などについて解説します。	白田 滋
	第8回 医療危機管理の基本と現場見学（1） 医療現場を実際に見学し、医療危機管理がどのように実践されているかを学びます。感染対策、急変対応、医療安全のための体制や連携の様子など、教室では学べないリアルな現場の工夫や緊張感を体感します。	酒井 哲郎
	第9回 医療危機管理の基本と現場見学（2） 医療現場を実際に見学し、医療危機管理がどのように実践されているかを学びます。感染対策、急変対応、医療安全のための体制や連携の様子など、教室では学べないリアルな現場の工夫や緊張感を体感します。	酒井 哲郎
	第10回 医療危機管理 見学発表と共有 医療現場の見学を通して得た学びや気づきを、グループまたは個人で発表します。発表では、観察した具体的な事例をもとに、危機管理の重要性や課題、今後自分たちが担うべき役割について考察を加えます。他者の発表を通じて多角的な視点から医療危機管理を捉え直し、学びを共有・深化させることを目的とします。	酒井 哲郎
	第11回 誤嚥と窒息の概要とその違い 誤嚥と窒息の基本的な定義とそのメカニズムについて学び、それぞれの違いを明確に理解します。誤嚥によるリスクや、窒息が引き起こす緊急事態など、健康に与える影響について解説します。また、どのような状況でそれぞれが発生しやすいかについても触れ、リスク要因を理解することを目的とします。	酒井 哲郎
	第12回 誤嚥と窒息発生時の対応法（吸引含む） 誤嚥や窒息が発生した際の適切な対応法について学びます。迅速かつ適切に対応するための応急処置の手順、具体的な動作、吸引の方法、注意点を説明し、実践的な対応能力を養います。また、特に緊急度が高い窒息への対処法については、リハールを行いながら、安全にケアできる技術を学びます。	酒井 哲郎
	第13回 人工呼吸器やカニューレの基礎とトラブル対応 人工呼吸器やカニューレの基本構造、役割、設定方法について学び、緊急時における対応法を理解します。人工呼吸器使用中に発生するトラブルへの対応、警報の理解と解除、患者の状態変化に応じた調整方法やカニューレの正しい取り扱い方と管理方法について学びます。安全管理の基礎を身につけます。	白坂 康俊
	第14回 音響外傷の理解と対応 音響外傷とは何か、その発生メカニズムや症状について理解を深め、対応方法を学びます。音響外傷の予防策、発生後の迅速な対応、リスク要因の把握について説明し、特に聴覚の保護とケア方法についても重点的に学習します。	岡野 由美
	第15回 小児における安全管理と危機対応 小児全般の特性を踏まえた安全管理の重要性について学びます。小児における事故のリスク要因、事故防止の具体策、緊急事態が発生した場合の適切な対応法について理解します。小児の特性に合わせた観察ポイントや、安全管理上の注意点についても取り扱います。	齋藤 吉人・遠藤 俊介

科目の目的	<p>リハビリテーションに求められる医療安全に関する基礎知識や代表的な対応方法について理解すること</p> <p>DPとの関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QOLの確保・向上を支援するため必要な基本的知識・技術 ・人間の個性と尊厳を尊重し、言語聴覚療法に必要な知識と技術を生涯にわたり学習しようとする倫理観 <p>【専門知識と基本的技術】</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全の考え方の概要について説明できる。 2. 代表的な安全・感染対策について説明できる。 3. 医療事故が発生した場合の対応の概要について説明できる。 4. 喀痰、吸引などの基本について説明できる。
関連科目	耳鼻咽喉科学、内科学、多職種理解と連携 聴覚障害演習、運動系障害演習、言語系障害演習、小児系障害演習
成績評価方法・基準	定期試験（60%）、課題（40%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習・復習各30分程度
教科書	教科書：使用しない
参考書	授業中に紹介する
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	演習の際は動きやすい服装で参加すること
アクティブ・ラーニングの実施	事例検討課題あり
ナンバリング	SFi-105

講義科目名称： 内科学

授業コード： 2S051

英文科目名称： Internal Medicine

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岩崎 俊晴			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-201	

講義科目名称： 小児科学

授業コード： 2S052

英文科目名称： Pediatrics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
秋元 かつみ			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-202	

講義科目名称： 精神医学

授業コード： 2S053

英文科目名称： Psychiatry

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石井 良和	井田 逸朗		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-203	

講義科目名称： リハビリテーション医学

授業コード： 2S054

英文科目名称： Rehabilitation Medicine

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-204	

講義科目名称： 言語聴覚障害関連領域実技実習

授業コード： 2S055

英文科目名称： Practical Training in Fields Related to Speech-Language-Hearing Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
酒井 哲郎	白坂 康俊	齊藤 吉人	石山 寿子
	岡野 由実	遠藤 俊介	鈴木 倫・及川 翔
授業形態	講義および演習（校外学習を含む）		担当者
授業計画	第1回	授業の概要，オリエンテーション	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第2回	演習：移動補助具（1本杖・松葉杖）	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第3回	演習：失語症体験・構音障害体験	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第4回	演習：嚥下障害体験	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第5回	演習：高齢者体験	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第6回	演習：高齢者体験	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第7回	講義：難聴体験	岡野
	第8回	演習：車椅子・片麻痺体験	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第9回	演習：車椅子・片麻痺体験	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第10回	演習：視覚障がい体験	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第11回	演習：視覚障がい体験	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川

	第12回	演習：小児保育体験 言語コミュニケーションに障がいのあるお子さんや定型発達児に対する、療育・保育現場を見学する	齊藤・遠藤
	第13回	演習：小児保育体験 言語コミュニケーションに障がいのあるお子さんや定型発達児に対する、療育・保育現場を見学する	齊藤・遠藤
	第14回	発表	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
	第15回	発表	酒井・白坂・齊藤・石山・岡野・遠藤・鈴木・及川
科目の目的	言語聴覚療法に関わる各障害について学習し、自ら体験することで理解を深める。また医療現場で必要とする車椅子操作や移乗などの介助方法など学習する。さらに小児福祉領域の関連施設において臨床現場の見学をとおして小児への適切な関わり方を学ぶ。 【専門知識と基本的技術】		
到達目標	1. 各障害の特徴を理解できる 2. 安全に車いすを操作できる（車いすの介助） 3. 寝返り，起き上がり，立ち上がりなどの基本動作の 4. 小児へ適切に関わろうとする際の介助法を実践できる		
関連科目	チーム医療とリハビリテーション，リハビリテーション医学，運動系障害演習		
成績評価方法・基準	発表(20%)，レポート(80%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	技術習得を目標とするため，講義後の実技練習30分程度の復習を要する		
教科書	特になし（別途資料を配布する）		
参考書	1. 飛松好子編著：新イラストによる安全な動作介助の手引き第3版，医歯薬出版株式会社，2016 2. 木村哲彦著：新イラストによる安全な動作介助のてびき第2版，医師薬出版株式会社2005 3. 臼田茂編：CrossLink理学療法学テキスト 日常生活活動学，医師薬出版株式会社MEDICAL VIEW. 2020		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	演習では、実技中心となりますので、動きやすい服装と実習用靴に履き替えて受講して下さい。		
アクティブ・ラーニングの実施	実技演習（グループワーク，体験学習）		
ナンバリング	SF1-106		
実務経験のある教員による授業			
実務経験			
授業の概要	身体障害者の運動・動作障害について学習し、誰もが知っておくと便利な歩行やその他の移動・移乗動作の介助法、車いす操作法、リラクゼーション指導、杖の付き方、デバイスの利用などについてリハビリテーション関連専門職者から直接に指導を受ける。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
鎌田 英男	村田 考啓		

授業形態	講義 パワーポイントを主体として行う。適宜動画や録音などを用いて理解を深める。	担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、関連領域の人体発生学 今後の授業の進め方、レポート提出、期末試験についての概略の説明を受け理解する。耳鼻咽喉科の関係する疾患は耳・鼻・咽喉頭・気管・食道が相互に関係する場合が多く、相互の関連性を学習することが非常に重要であることを理解する。授業はパワーポイント使用による講義が主体であるが、適宜動画の供覧も行って、視覚的な教育も並行して行うことにより、学習の強化を行う。人体発生学のうち、耳鼻咽喉科に関連の深い耳・鼻・咽喉頭・気管・食道の人体組織の成り立ちと相互の組織学および機能的な共通点を学ぶ。 気管食道疾患は耳鼻咽喉科のみならず、呼吸器内科・外科そして消化器内科・外科とも関連のある分野である。それらの知識を得ることはすべての医療職にとって大切なことである。ここでは気管食道の構造と機能の概略を学び、臨床に生かせる知識を理解する。今後の授業の進め方、レポート提出、期末試験についての概略の説明を受け理解する。耳鼻咽喉科の関係する疾患は耳・鼻・咽喉頭・気管・食道が相互に関係する場合が多く、相互の関連性を学習することが非常に重要であることを理解し説明できる。</p> <p>第2回 気管食道科学：気管食道科学の臨床とその検査法、頭頸部腫瘍：良性・悪性腫瘍 耳鼻咽喉科疾患に関連の深い全身疾患や症候群を理解し、その医学的な知識を学び、将来の言語聴覚士の臨床等に生かせるよう理解する。また人の名前の付いた症候群も多く、国家試験には出題しやすい症候群が多いことも知っておく必要がある。気管食道疾患の病態と治療方法そしてリハビリテーションを学び、患者さまに適切な指導とアドバイスができるようその病態と治療を学ぶ。 頭頸部に発生する良性・悪性腫瘍につき部位毎の症状、言語聴覚、嚥下に関連する事象につき理解し、説明できるようになる。 【国試出題基準】気道・食道異物、食道疾患、気管切開と気道確保、良性・悪性腫瘍（聴器、鼻・副鼻腔、口腔・咽頭、喉頭、唾液腺など）</p> <p>第3回 口腔咽頭科学Ⅰ：口腔・咽頭の構造と機能、口腔・咽頭の病態とその検査法 口腔と咽頭ならびに味覚の構造とその機能を学び、歯および口蓋・舌が発声やしゃく嚥下に関してどのように働いているかを理解し、その機能が失われた場合にどのような不自由が生じるかを学び説明できるようになる。</p> <p>第4回 口腔咽頭科学Ⅱ：口腔・咽頭の病態とその検査法、口腔咽頭の疾患および治療・リハビリテーション 口腔・咽頭の疾患の病態を学び、その治療と検査法およびリハビリテーションを理解する。また手術的手段によりその機能が失われた場合の代用機器および摂食・嚥下のリハビリテーションを学び理解し説明できる。 【国試出題基準】口腔疾患（舌炎、口内炎、口腔・舌腫瘍、口唇裂、口蓋裂）、咽頭疾患（急性扁桃炎、慢性扁桃炎、扁桃肥大、アデノイド増殖症、睡眠時無呼吸症候群）、唾液腺疾患（急性耳下腺炎、ムンプス、唾石症）、鼻咽喉閉鎖不全をきたす疾患、味覚とその障害</p> <p>第5回 耳科学Ⅰ：耳の構造と機能 外耳、中耳、内耳、聴覚・平衡神経路、大脳の聴覚野などの構造と機能の概要を学び、聴覚および平衡覚の神経信号がどのように大脳に至り理解されるかを学ぶ。</p> <p>第6回 耳科学Ⅱ：耳の病態と治療・リハビリテーション 外耳、中耳、内耳および聴覚・平衡神経路の代表的疾患について、その病態と治療を学び、言語聴覚士の関わりとその重要性を理解する。</p> <p>第7回 鼻科学Ⅰ：鼻・副鼻腔の構造およびその機能とその検査法 固有鼻腔および副鼻腔ならびに嗅覚の構造と機能を学び、それらが呼吸および発声・発語にどのような影響を及ぼしているかを理解する。またそれが阻害された場合にどのような状態が生ずるかを学ぶ。そしてその障害の内容は発生時期によっても異なることを理解する。それぞれの検査法についても理解し説明ができるようになる。機能（換気機能、鼻腔共鳴、嗅覚）。 【国試出題基準】鼻・副鼻腔疾患（急性鼻炎、慢性鼻炎、鼻アレルギー、急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、後鼻孔閉鎖症、嗅覚障害）</p>	<p>鎌田 英男</p> <p>鎌田 英男</p> <p>鎌田 英男</p> <p>鎌田 英男</p> <p>村田 考啓</p> <p>村田 考啓</p> <p>鎌田 英男</p>

第8回	鼻科学Ⅱ：鼻・副鼻腔疾患の病態および治療 鼻・副鼻腔疾患は生命に影響するような疾患は多くはないが、QOLに大きな影響を及ぼすため生活をするのに不快感や集中力の低下、しいては社会生活での行動にも影響がおよぶ。その影響の重大さを理解し、改善する方法を考えることが重要である。治療に関しては対症的な治療と根本的な治療があるが、その選択についても適切なアドバイスができるようにする。ため生活をするのに不快感や集中力の低下、しいては社会生活での行動にも影響がおよぶ。その影響の重大さを理解し、改善する方法を考えることが重要である。治療に関しては対症的な治療と根本的な治療があるが、その選択についても適切なアドバイスができるようにする。 【国試出題基準】鼻・副鼻腔疾患（急性鼻炎、慢性鼻炎、鼻アレルギー、急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、後鼻孔閉鎖症、嗅覚障害）	鎌田 英男
第9回	耳科学Ⅲ：耳の検査法と補聴器・人工聴覚器 耳科学での代表的な検査法（聴覚・平衡覚検査）を学ぶ。聴覚の補助装置として、補聴器および人工聴覚器がある。言語聴覚士が知っておくべき補聴器の種類・構造・適応および人工聴覚器の構造・適応について概要を学ぶ。の疾患の病態を学び、どのような影響を日常生活に生じるかを理解する。	村田 考啓
第10回	喉頭科学Ⅰ：喉頭の構造と機能・検査法 喉頭の構造と機能を学び、それらが呼吸、発声・発語にどのような影響を及ぼしているかを理解する。また、喉頭機能を評価する検査法について概要を学ぶ。	村田 考啓
第11回	喉頭科学Ⅱ：喉頭の疾患の病態と治療・リハビリテーション 喉頭に生じる代表的疾患について、その病態と治療およびリハビリテーションを理解する。また手術的治療によりその機能が失われた場合の代用機器およびリハビリテーションは言語聴覚士の重要な職務であり、それらをを学び理解する。	村田 考啓
第12回	音声言語医学Ⅰ：音声医学の基礎・臨床 言語聴覚士が直接関与することが非常に多い音声言語医学の基礎知識を習得する。音声言語医学Ⅰでは、音声医学についての基礎・臨床について概説する。	村田 考啓
第13回	音声言語医学Ⅱ：言語医学の基礎・臨床 音声言語医学Ⅱでは、聴覚障害とも関連し言語聴覚士が専門性を発揮する言語障害について、言語医学の基礎・臨床を概説する。	村田 考啓
第14回	気道確保と気道疾患、嚥下障害 気道確保の方法、気道疾患について学び説明できるようになる。嚥下障害とその病態、検査法について理解し説明できるようになる。最後に講義時間内でこれまでの講義で疑問点の質問討論を行う。 【国試出題基準】気管切開と気道確保、嚥下障害	鎌田 英男
第15回	耳鼻咽喉科関係の全身疾患およびまとめと過去の国家試験問題の検討、頭頸部腫瘍の手術・再建術による変化 耳鼻咽喉科領域での言語聴覚士国家試験出題基準の再確認、過去問題について解説する。気道確保や頭頸部腫瘍による手術・再建術による変化についても復習する。言語聴覚士が参加するチーム医療についても理解する。	鎌田 英男
科目の目的	言語聴覚士と耳鼻咽喉科のつながりはかなり長い歴史がある。言語聴覚士法が制定されるかなり前より、耳鼻咽喉科医は言語聴覚療法に関わってきた。ここでは言語聴覚士として知っておかなくてはならない耳鼻咽喉科領域器官の構造・機能・疾患・治療およびリハビリテーションを学ぶ。 【専門知識と基本的技術】	
到達目標	以下の点を到達目標とする。 1. 耳鼻咽喉科各疾患の概略を説明し、その治療および言語聴覚療法の概略と進め方を説明できる。 2. 実際の言語聴覚療法を施行するにあたり、その人の持つ特性、他の障害の特性も考慮し、実施できる。 3. 耳鼻咽喉科科学的な訓練の実施内容、その成果に関し、正確にカルテに記録を記載できる。	
関連科目	局所解剖学、基礎生理学、神経内科学、歯科・口腔外科学、口腔運動医学、言語医学、聴覚医学	
成績評価方法・基準	レポート課題(30%)、および期末試験(70%)にて総合評価する。各講義で出席をとるので注意すること。総合評価にて60点未満は追試験の対象となる。 レポートは講義中に教題を提示する。全レポートを30点満点とし各レポートを点数化し、総合成績に加算する。期末試験は70点満点とし、総合成績に加算する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	次の講義内容を教科書・参考書などで準備学習をする。学習時間の目安は60分とし、重要点は後に見直すように内容を記入する。	
教科書	「病気がみえる13巻 耳鼻咽喉科」医療情報科学研究所編 メディックメディア	
参考書	「耳鼻咽喉科疾患 ビジュアルブック第2版」落合慈介、中尾一成他編著、学研プラス 「言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学第2版」鳥山稔、田内光編 医学書院	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	1. 講義は全講義を受講すること。遅刻・早退も原則として認めない。 2. やむを得ない事由（病気・用事・天災など）により欠席する場合は、所定の手続きを取るとともに、	

	<p>次の講義日時の初頭に口頭にて講師に申し出ること。</p> <p>3. 上記2. の場合は、追加のレポート提出を命ずる場合がある。</p> <p>4. 正当な理由がなく欠席・遅刻・早退した場合は単位取得が不能となる場合がある。</p> <p>5. 授業中のスマホ・携帯電話の使用は禁止する。</p>
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では数回グループ討論（ワーク）を行う。
ナンバリング	SFi-107

講義科目名称： 神経内科学

授業コード： 2S057

英文科目名称： Neurology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-205	

講義科目名称： 形成外科学

授業コード： 2S058

英文科目名称： Plastic and Reconstructive Surgery

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浜島 昭人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-206	

講義科目名称： 歯科・口腔外科学

授業コード： 2S059

英文科目名称： Dental and Oral Surgery

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
戸谷 麻衣子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-207	

講義科目名称： 口腔運動医学

授業コード： 2S060

英文科目名称： Phoniatics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
二宮 洋			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-208	

講義科目名称： 言語医学

授業コード： 2S061

英文科目名称： Logopedics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石山 寿子	高橋 秀寿		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-209	

講義科目名称： 聴覚医学

授業コード： 2S062

英文科目名称： Audiology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長井 今日子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFi-210	

講義科目名称： 臨床心理学

授業コード： 2S063

英文科目名称： Clinical Psychology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	後期
担当教員	担当者		
伊藤 栞			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFj-201	

講義科目名称： 生涯発達心理学

授業コード： 2S064

英文科目名称： Life-Span Development Psychology

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態	講義15回 毎回の授業の最後に授業の「まとめ」を提出する。		担当者
授業計画	第1回	ヒトとは 直立二足歩行の意義・二足歩行からもたらされたヒト特有の疾患・ヒトの6大特徴	齊藤 吉人
	第2回	生涯発達 発達の定義・人の生涯に影響を与える3つの要因・2025年問題・平均寿命と健康寿命の差・人間発達期の区分・成長・発達・成熟・発育の原則	齊藤 吉人
	第3回	胎芽・胎児期 受精卵期・胎芽期・胎児期	齊藤 吉人
	第4回	乳児期 ピアジェの認知構造・乳児実験における観察法・エリクソンのライフサイクル・コミュニケーションの発達段階・アタッチメント	齊藤 吉人
	第5回	幼児期前期 粗大運動の発達・微細運動の発達・社会性・言語の発達・エリクソンの発達図式・児童虐待	齊藤 吉人
	第6回	幼児期後期 粗大運動の発達・微細運動の発達・自己中心性・こころの理論・社会的遊びの発達の分類	齊藤 吉人
	第7回	学童期 勤勉性と劣等感・脱中心化・向社会性	齊藤 吉人
	第8回	青年期前期 思春期と青年期・自我同一性・モラトリアム・自己受容・エゴグラム性格診断テスト	齊藤 吉人
	第9回	青年期後期 自我同一性・アイデンティティ・ステータス・マージナル・マン・ピーター・パン・シンドローム・シンデレラ・コンプレックス・合理的配慮・トランスジェンダー	齊藤 吉人
	第10回	成人期前期 親密性と孤独・職業的アイデンティティ・仁術・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ニート・人口置き換え水準	齊藤 吉人
	第11回	成人期中期 世代性と停滞・コーピング・スタイル・M字カーブ・3歳児神話	齊藤 吉人
	第12回	成人期後期 成熟期・同一性再確立・自己肯定感・熟年の自殺	齊藤 吉人
	第13回	高齢期 統合と絶望・結晶性知能と流動性知能・人格の尖鋭化・サクセスフル・エイジング・プロダクティブ・エイジング・ロコモティブ症候群・サルコペニア・フレイル・地域包括ケア	齊藤 吉人
	第14回	発達理論 単一要因説・生得説・経験説・双生児統制法・成熟優位説・レディネス・反射階層理論・行動主義心理学・輻輳説・相互作用説・横断研究・縦断研究・非線形打ち消し効果	齊藤 吉人
	第15回	発達理論 複雑系科学・創発・ゲシュタルト心理学・最近接発達領域	齊藤 吉人
科目の目的	人間を生涯にわたり発達する存在としてとらえ、生命の誕生から小児期、青年期、成人期(老年期)を経て死に至るまでの量的・質的变化について学ぶ。ディプロマポリシー：【専門知識と基本的技術】		
到達目標	人間の発達、受胎、胎生期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老人期、死というライフステージに分けられる。障害のある人への支援を行う専門職には、機能障害の理解に加え、そうしたライフステージの特徴を踏まえて支援を行うことが求められている。そして、ライフステージの各時期に発現する行動を広く、深く理解し、各時期に生じやすい発達上あるいは健康上の課題を説明できることを目標とする。		
関連科目	臨床心理学, 学習・認知心理学, 心理測定法		

成績評価方法・基準	評価点＝毎回提出する「まとめ」（1点×15回＝15%）＋定期試験成績（85%）。100点満点換算で60点以上を合格とし単位を与える。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業計画に示される授業内容の教科書該当部分を予習する（各回45分程度）。授業後に配布される「標準的まとめ」を復習する（各回45分程度）。
教科書	言語聴覚士のための心理学, 第2版, 医師薬出版, 2020
参考書	鈴木光太郎著：ヒトの心はどう進化したのかー狩猟採集生活が生んだもの, 筑摩書房, 2013
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	1回の「まとめ」の提出に対し1点が与えられる。ただし、正答が60%を超えない場合、「まとめ」とは認めない。毎回の授業終了後、「標準的まとめ」をActive Academyにて配信する。定期試験は「標準的まとめ」から出題される。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	SFj-101

講義科目名称： 学習・認知心理学

授業コード： 2S065

英文科目名称： Psychology of Learning and Cognition

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
河内 和直			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFj-202	

講義科目名称： 心理測定法

授業コード： 2S066

英文科目名称： Psychological Measurement Method

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
伊藤 栞			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFj-301	

講義科目名称： 言語学

授業コード： 2S067

英文科目名称： Linguistics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
白坂 康俊			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 言語学概論。STにとっての言語学の必要性を理解する演習（言語処理過程） AL＝アクティブラーニング	白坂 康俊
	第2回 言語学と言語障がいとの具体的な関連 AL	白坂 康俊
	第3回 日本語の特徴、構造を理解する。STが臨床を行うのに改めて日本語を学ぶ必要性 一部AL	白坂 康俊
	第4回 日本語の品詞、形態と役割 1 一部AL	白坂 康俊
	第5回 日本語の品詞、形態と役割 2 一部AL	白坂 康俊
	第6回 日本語の格助詞、形態と役割 1 一部AL	白坂 康俊
	第7回 日本語の格助詞、形態と役割 2 一部AL	白坂 康俊
	第8回 日本語のボイス、形態と役割 1 一部AL	白坂 康俊
	第9回 日本語のボイス、形態と役割 2 一部AL	白坂 康俊
	第10回 日本語のテンス、形態と役割 1 一部AL	白坂 康俊
	第11回 日本語のテンス、形態と役割 2 一部AL	白坂 康俊
	第12回 日本語の人称、形態と役割 一部AL	白坂 康俊
	第13回 日本語の統語構造と「は」および従属節での格の標識の消失. 障がい者にとっての日本語の習得 一部AL	白坂 康俊
	第14回 日本語の助詞と助詞の消失の習得のための訓練プログラム立案 一部AL	白坂 康俊
	第15回 言語の一般的特徴（生成文法、共時論、通時論、生産性、線状性、音声・文字言語、恣意性、二重分節性など） AL	白坂 康俊
科目の目的	患者様が習得、再学習する対象としての日本語について、言語聴覚士として評価課題や訓練課題において言語学的知識をどのように活用し、言語学的な分析をどのように行いうるかについて理解する。それにより、障がいを持つ方の発話や書いたものを分析し、必要な習得プログラム構築できるようにする。【専門知識と基本的技術】	
到達目標	言語学の基本的な概念を説明できる。日本語の特色、日本語のシンタックス、語彙、表記法（かな、カタカナ、漢字）などの規則と特徴を理解し、言語レベルの障がいの検査・評価・訓練にどのように応用できるかを理解する。	
関連科目	聴覚障害学、失語症学、高次脳機能障害学、言語聴覚障害学概論	
成績評価方法・基準	小レポート20%、ALの参加状況20%、筆記試験、60%とする。筆記試験は、100点満点換算で60点以上を合格とする。小レポートは、内容で評価し、また、出席した授業について未提出の場合は、0点とする。全体で、100点満点換算の60点以上を合格とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回事前演習課題を提示するので、回答を準備すること。約1時間の準備を要する。基礎的な学問である言語学と言語障害がどう結びつくかをしっかり考えること。	
教科書	教科書：野田尚史「はじめての人の日本語文法」くろしお出版 1991年 配布資料	
参考書	無し	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	授業内でテーマを設定し、ゼミ単位のディスカッションを行う。
ナンバリング	SFk-101

講義科目名称：音声学

授業コード：2S068

英文科目名称：Phonetics

対象カリキュラム：2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFk-201	

講義科目名称：音響音声学

授業コード：2S069

英文科目名称：Acoustic Phonetics

対象カリキュラム：2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
米本 清			

授業形態	講義形式	担当者
授業計画	第1-2回 音の波形と基本的性質の表現方法	米本 清
	第3-4回 音の強さを表現する（パスカルとデシベル）	米本 清
	第5-6回 音の周波数（ヘルツ）と共鳴（フィルタ）	米本 清
	第7-8回 音の周波数スペクトルとその表示方法	米本 清
	第9-10回 いろいろな音の音響特性を表現する	米本 清
	第11-12回 音のデジタル記録/音声の生成モデル	米本 清
	第13-14回 音声の音響特性（サウンド・スペクトログラム）	米本 清
	第15回 国家試験で問われる音響音声学	米本 清
科目の目的	言語聴覚障害学の専門基礎分野として、音響音声学に関する知識・方法を理解すること。【専門知識と基本的技術】	
到達目標	1. 音の物理学的性質を理解し、説明ができる。 2. 音を表す単位、解析法、表示法を理解し、解釈および説明ができる。 3. 音声生成に関わる音響理論を理解し、説明ができる。	
関連科目	聴覚心理学、音声学	
成績評価方法・基準	筆記試験（定期試験50%、講義中に実施する小テスト50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う（30時間相当）。高校数学の対数を復習しておくこと。音響学、知覚心理、スピーチサイエンスなどに関連する書籍を読むなど、関心を高めつつ受講することが望ましい。	
教科書	ゼロから学ぶ音響学（講談社）：聴覚心理学と共通	
参考書	新ことばの科学入門 第2版（医学書院） 言語聴覚士の音響学入門 2訂版（海文堂） 音のなんでも小辞典（講談社ブルーバックス）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義に教科書を忘れずに持参すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	なし	
ナンバリング	SFk-102	

講義科目名称： 聴覚心理学

授業コード： 2S070

英文科目名称： Psychology of Hearing

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
富澤 晃文			

授業形態	講義形式	担当者
授業計画	第1回 音と人間／音の知覚	富澤 晃文
	第2回 音の心理物理学①（音の3要素）	富澤 晃文
	第3回 音の心理物理学②（可聴範囲、等ラウドネス曲線）	富澤 晃文
	第4回 音の心理物理学③（ラウドネスとピッチ）	富澤 晃文
	第5回 マスキング	富澤 晃文
	第6回 両耳聴	富澤 晃文
	第7回 環境と聴覚①（知覚と情景分析）	富澤 晃文
	第8回 環境と聴覚②（音環境と騒音）	富澤 晃文
科目の目的	言語聴覚障害学の専門基礎分野として、聴覚心理学に関する知識を理解すること。【専門知識と基本的技術】	
到達目標	1. 音と精神物理学的関係を理解し、説明ができる。 2. 音の知覚に関わる単位、表示法を理解し、説明ができる。 3. 音環境と知覚心理学に関わる理論を理解し、説明ができる。	
関連科目	音響学	
成績評価方法・基準	筆記試験（定期試験80%、授業内小テスト20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う（30時間相当）。音響学、知覚心理、スピーチサイエンスなどに関連する書籍を読むなど、関心を高めつつ受講することが望ましい。	
教科書	ゼロから学ぶ音響学（講談社）：音響学と共通	
参考書	新ことばの科学入門 第2版（医学書院） 言語聴覚士の音響学入門 2訂版（海文堂） 音のなんでも小辞典（講談社ブルーバックス） 音響聴覚心理学（誠信書房）	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	なし	
ナンバリング	SFk-103	

講義科目名称： 言語発達学

授業コード： 2S071

英文科目名称： Development of Speech and Language

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	遠藤 俊介		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SFk-202	

講義科目名称： リハビリテーション概論

授業コード： 2S072

英文科目名称： Introduction to Rehabilitation

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	佐藤 満	村田 和香	

授業形態	講義 8回		担当者
授業計画	第1回	イントロダクション リハビリテーションを取り巻く知識の整理 障害学、クライアント中心、健康、生活、自分らしく生きる	村田 和香
	第2回	リハビリテーションの定義の変遷 歴史的変遷、定義と目的	佐藤 満
	第3回	病気と障害、ICF 病気とは、障害とは、国際疾病分類（ICD）から国際障害分類（ICDH）、そして国際生活機能分類（ICF）へ	佐藤 満
	第4回	リハビリテーションの諸領域、リハビリテーションの流れ 国際疾病分類（ICD）から国際障害分類（ICDH）、そして国際生活機能分類（ICF）へ	佐藤 満
	第5回	人間の活動と発達 発達とは、ライフサイクル、ノーマライゼーション、発達障害	齊藤 吉人
	第6回	障害と社会制度 国際障害者権利条約、障害者基本法、身体障害者福祉法、障害手帳、介護保険、地域資源	齊藤 吉人
	第7回	社会参加、社会につながるために	齊藤 吉人
	第8回	生活、人生を考える 社会参加、社会貢献、生活の意味、人生100年時代の課題	村田 和香
科目の目的	本講義では、リハビリテーションの理念と原則を踏まえて、包括的なリハビリテーション、ならびに障害学の基本概念を習得することを目標とする。リハビリテーションスタッフとして必要な障害学の内容と評価・治療方法の要点、国際生活機能分類（ICF）、リハビリテーションのプロセス、リハビリテーションチーム医療のあり方、さらには保健・福祉行政における社会的資源とリハビリテーションの関わり等についての基礎知識を理解する。【探求力と問題解決力】		
到達目標	リハビリテーションの基本理念と原則を理解し、障害の概念と分類、リハビリテーションの領域とその過程、障害と心理、さらにはリハビリテーション障害学の基礎、そして保健医療福祉制度・関係法規とリハビリテーションとの関連について獲得する。具体的には下記の通りである。 ①リハビリテーションの概念および定義を説明することができる。 ②リハビリテーションの歴史を説明することができる。 ③国際生活機能分類（ICF）を説明できる。 ④リハビリテーションの多職種連携の重要性を説明できる。		
関連科目	言語聴覚障害概論、チーム医療とリハビリテーション、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	定期試験（100%）：到達目標の達成程度を確認する筆記試験を行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は各回の項目について配布資料・その他各種メディアを通じて自分なりの問題意識を抱き、復習は講義内容のレビューを行い疑問点を解消して自分の言葉で平易に正しく説明できるようにすること。 必要な学習時間の目安は概ね30分程度である		
教科書	教科書：特に定めず、講義資料を活用する。 その他講義内容により資料等配布有り。		
参考書	参考書：中村隆一編「入門リハビリテーション概論（第7版補訂）」（医歯薬出版）		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	本科目は、他の科目へ展開する基礎となるものである。視聴覚教材等により、発見学習を提供するものである。		
ナンバリング	SF1-101		

講義科目名称： AACと教材学

授業コード： 2S073

英文科目名称： Teaching and Learning Materials and AAC…

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
白坂 康俊	齊藤 吉人	丹下 弥生	遠藤 俊介
	酒井 哲郎		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SF1-301	

講義科目名称： 臨床スキル論

授業コード： 2S074

英文科目名称： Clinical Skills

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡田 哲也	磯 忍		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SF1-401	

講義科目名称： チーム医療とリハビリテーション

授業コード： 2S075

英文科目名称： Rehabilitation and Team Care

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石山 寿子	遠藤 俊介・酒井 哲郎	岡崎 大資・浅田 春美・加茂 智彦	村田 和香・馬場 順子・松寄 由莉

授業形態	講義（3）、演習（5）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション 総論（講義） チーム・アプローチの必要性、保健医療チームの特徴、チームのタイプ	石山・岡崎・浅田・加茂・村田・馬場・遠藤・酒井・松寄
	第2回	リハビリテーション・チームの役割（講義） 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割	石山・岡崎・浅田・加茂・村田・馬場・遠藤・酒井・松寄
	第3回	グループ・ワークについて（講義） グループ課題情報共有、グループ分け	石山・岡崎・浅田・加茂・村田・馬場・遠藤・酒井・松寄
	第4～7回	グループワーク（演習4回） 下記の課題を担当するグループを決定し、グループでの役割分担、情報収集、分析、ディスカッション、発表準備を行う。 課題① 高崎市間屋町を生活圏とするために 課題② 大学生活を快適にする方法 課題③ リハビリテーションを地域住民に知ってもらうために 課題④ 高齢者のための生活の工夫を考える 課題⑤ リハビリテーションの将来を考える	石山・岡崎・浅田・加茂・村田・馬場・遠藤・酒井・松寄
	第8回	グループ発表（演習） グループ・ワークの結果をまとめ、その学習成果をポスター等により発表し、ディスカッションを行う。	石山・岡崎・浅田・加茂・村田・馬場・遠藤・酒井・松寄
科目の目的	リハビリテーション学部のプロディグマ・ポリシーで謳われている「多様化する地域社会の諸問題を理解し、多職種と連携してリハビリテーションを実践できる能力」を目指し、リハビリテーション学部の3学科の学生が共に学ぶ機会を得ることにより、お互いを尊重する姿勢を学ぶ。「リハビリテーション概論」の学修に基づき、学科横断的に編成するグループによる課題解決の過程を通して、チームの概念、チームワークの難しさと効果、リーダーシップ、他者理解の上での交流の在り方、組織管理について学修する。【探求力と問題解決力】		
到達目標	①チーム医療の意味を説明できる。 ②リハビリテーション・チームの役割を説明できる。 ③グループ・ワークに積極的参加することができる。 ④他者の意見を聞くこと、自らの意見を話すことができる。		
関連科目	多職種理解と連携、リハビリテーション概論、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	グループ・ワークの発表（50%）およびディスカッションを含めた課題をレポートにまとめる（50%）。 レポートのフィードバックは学科担当教員が行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容、およびグループでの作業を理解し、積極的にグループ・ワークに参加すること。 準備学習に必要な時間の目安は30分程度である。		
教科書	特に定めない。		
参考書	特に定めない。		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	グループワークを実施する。
ナンバリング	SF1-102

講義科目名称： 社会福祉制度・関連法規

授業コード： 2S076

英文科目名称： Social Welfare System and Related Regulations

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
井上 暁子	坂井 勉	魚屋 真佐江	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 社会福祉とは ガイダンス：授業目的、今後の授業の進め方、テキスト説明など 社会福祉の捉え方、社会福祉分野で使われる用語の整理、歴史的系譜、福祉の措置から契約へ (テキストP2からP12まで)	井上 暁子
	第2回 社会福祉の歩み 日本の社会福祉の歩み、欧米の社会福祉の歩み (テキストP13からP28まで)	井上 暁子
	第3回 社会保障制度と社会福祉を展開する組織 社会保障制度の体系、社会保険、公的扶助、社会福祉を展開する組織、社会保障制度をめぐる今後の課題 (テキストP29からP45まで)	井上 暁子
	第4回 子ども家庭福祉 少子化対策、子どもにかかわる法と施策、児童福祉関連施設と専門機関、母子保健、児童虐待、子どもの貧困(テキストP48からP69まで)	坂井 勉
	第5回 障害者福祉 障害者福祉の考え方、障害者福祉に関する法律、「障害者総合支援法」、障害者虐待 (テキストP70からP88まで)	魚屋 真佐江
	第6回 高齢者福祉 高齢者を取り巻く状況、高齢者を対象とした法制度、高齢者福祉の課題 (テキストP89からP103まで)	魚屋 真佐江
	第7回 介護保険と介護保険制度 介護保険制度創設の背景、介護保険制度の概要、介護保険制度を支えるケアマネジメントとケアマネージャー、チームアプローチ (テキストP104からP120まで)	魚屋 真佐江
	第8回 低所得者福祉 貧困とは、生活保護制度、生活保護と関連事業、低所得者対策、現状と今後の課題 (テキストP121からP134まで)	坂井 勉
	第9回 地域福祉 地域福祉とは、地域共生社会の実現と地域福祉、地域福祉の推進組織と担い手、地域福祉の推進方法 (テキストP135からP150まで)	坂井 勉
	第10回 医療福祉・精神保健福祉 医療保険制度の概要、保険診療の仕組み、医療機関の機能、医療福祉と専門職、地域医療連携から地域連携へ、医療ソーシャルワーカー、精神保健の定義とおもな精神疾患、精神保健を取り巻く状況、「精神保健福祉法」の概要、「医療観察法」、「障害者雇用促進法」、自殺防止対策、認知症高齢者の現状 (テキストP151からP178まで)	魚屋 真佐江
	第11回 社会福祉施設の役割・社会福祉を担う人々 社会福祉施設の体系、社会福祉施設の推移、社会福祉施設の枠組み、施設の今後の課題、社会福祉従事者の現状と人材確保、社会福祉従事者のおもな職種(社会福祉専門職・その他の専門職)、社会福祉従事者による連携・協働 (テキストP180からP199まで)	坂井 勉
	第12回 社会福祉の実践事例 他職種連携を基調とした医療ソーシャルワーカーの実践事例から病院における医療ソーシャルワーカーの必要性、実践事例の紹介と考察、他職種連携の必要性と医療ソーシャルワーカーの役割 (テキストP212からP221まで)	魚屋 真佐江

	第13回	相談援助の目的と方法 ―ソーシャルワークの視点から― 社会福祉における相談援助の目的と対象、社会福祉における相談援助者の基本的態度、相談援助の展開方法 (テキストP200からP211まで)	坂井 勉
	第14回	保健医療福祉に関する諸問題 保健医療福祉に関する諸問題の例、保健医療福祉従事者に期待されるおもな役割 (テキストP222からP229まで)	井上 暁子
	第15回	学習内容の振り返りとまとめ 社会福祉について これまでの授業で学習した内容を振り返るとともに、重要事項を再確認する。	井上 暁子
科目の目的	人々の生活を支え健康を守るために、保健医療専門職に求められる「社会福祉の基本的知識」を理解する。具体的には、社会福祉の捉え方や歴史、社会福祉の法や制度・担い手、児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉・地域福祉・精神保健福祉等の福祉の各分野についてや、介護保険制度と地域包括システム、相談援助・医療ソーシャルワーク等について学ぶ。それらを通して、保健医療福祉サービスにおける、地域連携・他職種連携など「連携」の意義についても理解を深める。 【人間の尊厳と基本的人権】		
到達目標	1. 社会福祉全般について基本的な知識を理解する。 2. 福祉専門職と保健医療専門職の連携と協働の意義と必要性について考える。 3. 医療・介護・福祉サービスを利用する人々の生活と健康を地域で支える一員としての自覚を持つようになる。		
関連科目	多職種理解と医療コミュニケーション、教育学		
成績評価方法・基準	定期試験：全講義終了後に実施する筆記試験（85%） 授業内で記入するリアクションペーパー（15%）←内訳：井上5%、魚屋5%、坂井5%（次回の授業の冒頭でフィードバック）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義に臨む前に教科書の該当ページを熟読しておく。講義後は教科書や配布資料をもとに学習内容の復習を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマあたり180分。		
教科書	「コメディカルのための社会福祉概論 第5版（講談社出版）」		
参考書	授業内で随時紹介する		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	Active Academy Advanceにて講義資料を配布する（4日前から当該日まで）。PCにダウンロードして授業に持参すること。		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし		
ナンバリング	SF1-103		

講義科目名称： 地域リハビリテーション学

授業コード： 2S077

英文科目名称： Community-Based Rehabilitation

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SF1-302	

講義科目名称： 地域参加支援 I

授業コード： 2S078

英文科目名称： Community Participation Support I

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	白坂 康俊・神山 政恵	三浦 康子・丹下 弥生	岡野 由実・遠藤 俊介
	及川 翔・酒井 哲郎		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SF1-201	

講義科目名称： 地域参加支援Ⅱ

授業コード： 2S079

英文科目名称： Community Participation Support Ⅱ

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	白坂 康俊・酒井 哲郎	神山 政恵・三浦 康子	丹下 弥生・岡野 由実
	遠藤 俊介・及川 翔		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SF1-303	

講義科目名称： 言語聴覚障害学概論

授業コード： 2S080

英文科目名称： Introduction to Speech-Language-Hearing Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
白坂 康俊			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 コミュニケーションにおける言語という記号の役割と機能（スピーチチェーン）講義 グループ分け	白坂 康俊
	第2回 聴覚言語障がいとは 解説30分 テーマについてグループディスカッション (AS) 60分 AS:アクティブラーニング・ゼミ	白坂 康俊
	第3回 評価とは 解説30分 テーマについてグループディスカッション (AS) 60分 AD AS	白坂 康俊
	第4回 治療・機能訓練とは 解説30分 テーマについてグループディスカッション (AS) 60分 AS	白坂 康俊
	第5回 活動制限と支援 解説30分 テーマについてグループディスカッション (AS) 60分 AS	白坂 康俊
	第6回 参加制約と支援 解説30分 テーマについてグループディスカッション (AS) 60分 AS	白坂 康俊
	第7回 共生の社会とは 解説30分 テーマについてグループディスカッション (AS) 60分 AS	白坂 康俊
	第8回 グループ発表準備 (AS)	白坂 康俊
	第9回 グループ発表準備 (AS)	白坂 康俊
	第10回 グループ発表 (AS) 1	白坂 康俊
	第11回 グループ発表 (AS) 2	白坂 康俊
	第12回 グループ発表 (AS) 3	白坂 康俊
	第13回 グループ発表 (AS) 4	白坂 康俊
	第14回 グループ発表 (AS) 5	白坂 康俊
	第15回 グループ発表 (AS) 6	白坂 康俊
科目の目的	言語聴覚障害は機能障がいとしてのコミュニケーションの問題だけでなく、日常行動の制限や社会参加の制約をもたらす。体験も通して、これらの困難、不自由さ、苦痛などを、知識ではなく感覚的なレベルで理解し、他者に発信する。 障がいのある方の評価と支援は、世界基準であるICF(国際生活機能分類)に基づいてなされることを理解し、それに基づいた言語聴覚障害の種類、特徴、治療・訓練法を学び、それぞれの障害の特徴に沿った生活ならびに地域や社会への参加の制約の実情を把握し、生活支援、社会参加支援を含めた言語聴覚士の役割を理解する。 アクティブラーニングでの学習、グループ学習の方法を習得することでチーム医療の基礎能力を身につける。【専門知識と基本的技術】	
到達目標	言語聴覚障がいのある方の困難、不自由さ、苦痛を感覚的に理解し、かつ他者に説明できる。 コミュニケーションにおける言語という記号の役割と機能（スピーチチェーン）を説明できる。 言語聴覚障がいに対する支援（機能回復、生活支援、社会参加支援等）について説明できる。 言語聴覚障がいの種類と種類毎の評価（ICF評価を含む）、支援について説明できる。 言語聴覚障がい学（資格制度を含む）の歴史と概要を説明できる。	
関連科目	言語聴覚障害学演習、ICFとリハビリテーション、地域リハビリテーション学	
成績評価方法・基準	聴講票20%、ALの内容、発表60%、レポート20%とする。いずれも60点/100点満点以上をとって合格とする。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	担当するテーマについての自己学習、グループ学習、発表のために毎回1時間程度の準備を要する。
教科書	教科書：言語聴覚士テキスト 第3版、医歯薬出版
参考書	無し
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	AL=アクティブラーニング、AS=アクティブラーニング・ゼミ
アクティブ・ラーニングの実施	テーマを提示し、ゼミ単位で調査学習を行い、発表する。
ナンバリング	SSm-101

講義科目名称： 言語聴覚障害診断学

授業コード： 2S081

英文科目名称： Speech-Language-Hearing-Disorder Diagnosis

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
白坂 康俊			

授業形態	講義 (8回)	演習 (7回)	担当者
授業計画	第1回	講義 オリエンテーションとモデルプレゼンテーション (失語症) SV:鈴木	白坂 康俊
	第2回	講義 モデルプレゼンテーションの方法と、内容、注意点、診断とICF 診断の流れ SV:白坂	白坂 康俊
	第3回	講義 高次脳機能障害の診断の流れ SV:鈴木	白坂 康俊
	第4回	講義 知的発達障害の診断の流れ1、 知的発達障害の診断の流れ2 SV:齊藤、遠藤	白坂 康俊
	第5回	講義 聴覚障害の評価の流れ1 (小児) 聴覚障害の評価の流れ2 (成人) SV:岡野	白坂 康俊
	第6回	講義 器質性・機能的構音障害の評価の流れ1、器質性・機能的構音障害の評価の流れ2 SV:酒井	白坂 康俊
	第7回	講義 発声発語・嚥下障害の評価の流れ1、発声発語・嚥下障害の評価の流れ2 SV:石山	白坂 康俊
	第8回	講義 非流暢性発話障害の評価の流れ、講義まとめ SV:鈴木	白坂 康俊
	第9回	グループワーク AS+AL	白坂 康俊
	第10回	グループワーク AS+AL	白坂 康俊
	第11回	グループワーク AS+AL	白坂 康俊
	第12回	グループワーク AS+AL	白坂 康俊
	第13回	グループワーク (学生によるプレゼンテーション) AS+AL	白坂 康俊
	第14回	グループワーク (学生によるプレゼンテーション) AS+AL	白坂 康俊
	第15回	講義・演習のまとめ、質疑応答	白坂 康俊
科目の目的	コミュニケーション障害である言語聴覚障害の種類とその原因疾患、各障害の発現メカニズムを理解し、障害の特徴と診断方法を学修し、それらの障害の対象者のQOLの確保や復権に結びつくことを理解する。【専門知識と基本的技術】		
到達目標	①聴覚障害、失語症、高次脳機能障害、器質性・機能的・運動障害性構音障害、音声障害、吃音、脳性麻痺を含む発達性障害の概要を説明できる。②各障害の検査法や診断法について学修する。③単に各障害の類型を記述できるだけでなく、言語処理過程の中での位置づけを正しく認識できる。④最終的には診断・評価はその対象者のQOL確保や復権に結びつくことを理解することが目標となる。		
関連科目	言語聴覚障害学概論、言語聴覚障害学演習、言語聴覚障害臨床論、地域リハビリテーション学、地域参加支援総論		
成績評価方法・基準	グループ・ワークの貢献度 (30%)、レポート：各講義のまとめ (30%)、筆記試験 (40%) で、総合点100点満点で評価し、60点以上を合格とする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	グループワークの準備に必要な時間は40分程度である。グループワーク内では他者の意見を尊重し、自分からも発信することも大切である。		
教科書	特になし。		
参考書	「ICF国際生活機能分類改訂版」中央法規出版、標準言語聴覚療法「言語聴覚療法 評価・診断学」医学書院		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	AL=アクティブ・ラーニング、AS=アクティブ・ラーニング・ゼミ 資料は1週間前にAAにて配信する。		

アクティブ・ラーニングの実施	アクティブ・ラーニングを実施する。
ナンバリング	SSm-102

講義科目名称： 地域参加支援総論

授業コード： 2S082

英文科目名称： Introduction to Community Participation Support

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSm-401	

講義科目名称： 地域言語聴覚療法学

授業コード： 2S083

英文科目名称： Community Speech-Language-Hearing Therapy

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
石山 寿子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSn-401	

講義科目名称： 言語聴覚療法管理学 I

授業コード： 2S084

英文科目名称： Speech-Language-Hearing Therapy Management I

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克佳			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSo-201	

講義科目名称： 言語聴覚療法管理学Ⅱ

授業コード： 2S085

英文科目名称： Speech-Language-Hearing Therapy Management II

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
馬場 清			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSo-301	

講義科目名称： 失語症学

授業コード： 2S086

英文科目名称： Aphasia

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 倫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSp-201	

講義科目名称： 高次脳機能障害学

授業コード： 2S087

英文科目名称： Higher Brain Dysfunction

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 倫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSp-202	

講義科目名称： 失語・高次脳機能障害評価法

授業コード： 2S088

英文科目名称： Assessment Methods for Aphasia and Higher Brain Dysfunction

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
酒井 哲郎			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	SSp-301		

講義科目名称： 失語・高次脳機能障害支援論

授業コード： 2S089

英文科目名称： Support Methods for Aphasia and Higher Brain Dysfunction

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
未定			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	SSp-302		

講義科目名称： 言語発達障害学

授業コード： 2S090

英文科目名称： Language Development Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	遠藤 俊介		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSq-201	

講義科目名称： 言語発達障害評価法

授業コード： 2S091

英文科目名称： Assessment Methods for Language Development Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	遠藤 俊介		
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	SSq-301		

講義科目名称： 言語発達障害支援論

授業コード： 2S092

英文科目名称： Support Methods for Language Development Disorders 対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	遠藤 俊介		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSq-302	

講義科目名称： 病理音声学

授業コード： 2S093

英文科目名称： Pathological Phonetics

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSr-201	

講義科目名称： 発声発語・摂食嚥下障害評価法

授業コード： 2S094

英文科目名称： Assessment Methods for Disorders of Speech and Swallowing

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
石山 寿子	酒井 哲郎		
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	SSr-202		

講義科目名称： 器質性・機能性発話障害支援論

授業コード： 2S095

英文科目名称： Support Methods for Organic and Functional Speech Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	齊藤 吉人	遠藤 俊介	酒井 哲郎
	清水 崇寛		
授業形態			担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	SSr-301		

講義科目名称： 運動性発話障害支援論

授業コード： 2S096

英文科目名称： Support Methods for Motor Speech Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
酒井 哲郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSr-302	

講義科目名称： 非流暢性発話・音声障害支援論

授業コード： 2S097

英文科目名称： Support Methods for Disfluent Speech and Voice Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 倫	池田 泰子		
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	SSr-303		

講義科目名称： 摂食嚥下障害支援論

授業コード： 2S098

英文科目名称： Support Methods for Dysphagia

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石山 寿子	酒井 哲郎		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSr-304	

講義科目名称： リハビリテーション栄養学

授業コード： 2S099

英文科目名称： Rehabilitation Nutrition

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美	棚橋 由佳		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSr-305	

講義科目名称： 聴覚検査法

授業コード： 2S100

英文科目名称： Auditory Assessment Methods

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡野 由実			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSs-201	

講義科目名称： 聴覚補償

授業コード： 2S101

英文科目名称： Auditory Compensation

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡野 由実			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSs-202	

講義科目名称： 先天性聴覚障害支援論

授業コード： 2S102

英文科目名称： Support Methods for Congenital Hearing Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡野 由実	北 義子		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSs-301	

講義科目名称： 後天性聴覚障害支援論

授業コード： 2S103

英文科目名称： Support Methods for Acquired Hearing Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡野 由実			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSs-203	

講義科目名称： 聴覚障害演習

授業コード： 2S104

英文科目名称： Seminar in Hearing Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡野 由実	齊藤 吉人	岡野 由美	遠藤 俊介

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSt-302	

講義科目名称： 運動系障害演習

授業コード： 2S105

英文科目名称： Seminar in Motor Speech Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
石山 寿子	酒井 哲郎		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSt-303	

講義科目名称： 言語系障害演習

授業コード： 2S106

英文科目名称： Seminar in Adult Language Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 倫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず (2025年度カリキュラム)	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSt-304	

講義科目名称： 小児系障害演習

授業コード： 2S107

英文科目名称： Seminar in Pediatric Communication Disorders

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人	白坂 康俊	齊藤 吉人	遠藤 俊介

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSt-305	

講義科目名称： 言語聴覚総合演習

授業コード： 2S108

英文科目名称： Comprehensive Seminar for Speech and Hearing

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
酒井 哲郎	白坂 康俊	齊藤 吉人	遠藤 俊介
	酒井 哲郎		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSt-401	

講義科目名称： 卒業研究

授業コード： 2S109

英文科目名称： Graduation Studies

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSt-402	

講義科目名称： 見学実習

授業コード： 2S110

英文科目名称： Clinical Tours

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	3学年	必修
担当教員	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSu-201	

講義科目名称： 評価実習

授業コード： 2S111

英文科目名称： Clinical Assessment Practice

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	5単位	必修
担当教員	担当者		
白坂 康俊			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSu-301	

講義科目名称： 総合臨床実習

授業コード： 2S112

英文科目名称： Comprehensive Clinical Practicum

対象カリキュラム： 2025年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	7単位	必修
担当教員	担当者		
白坂 康俊	齊藤 吉人・神山 政恵	三浦 康子・丹下 弥生	岡野 由実・遠藤 俊介
	及川 翔・酒井 哲郎		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2025年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	SSu-401	